

2007—2008

ワイズメンズクラブ国際協会 西日本区報

JAPAN WEST REGION

BULLETIN 第2号 通巻34号 / 2008.2 発行

西日本区理事主題 Let's move forward with conviction 「確信を持って前進しよう」
国際会長主題 Service without borders 「国境なき奉仕」
アジア会長主題 Service without borders 「国境なき奉仕」



“確信を持って前進しよう！”

“Let's move forward with conviction!”

2007-2008 西日本区理事 神谷 尚孝

2007-2008 Regional Director, Japan West Region
Naotaka Kamitani

上期の報告と今後のお願い

2007年6月30日会員数1653名が、7月1日付け半年報の1630名で今期はスタートしました。

2008年1月1日の半年報では1688名になりましたので、2007～8年度上半期中に58名の会員増加が実現しました。この増加には阿蘇クラブ21名のチャーターが大きな要因です。熊本地域の各クラブに顕著な増加があります。今年度より始まった2000推進チームの活発な活動に各クラブが奮起して、会員増強と退会防止にご努力して下さいました成果であり、心から感謝いたします。

会員増強は組織の健全運営をはかり、私達の活動をより活発にし、地域・国際への奉仕活動を行う上で必要です。引き続き会員増強を強力に推進しましょう。

今年度より始まった「クラブメール委員」制度は、88クラブ中78クラブが委員を任命して下さい、区からクラブへの連絡が良質・迅速となり、経費節減にも役立っています。クラブ印刷費が多少増加したかも知れませんが、更に完全な通信網として機能しますようにご協力下さい。

Report on the First Half, Request for the Second Half

Although membership as of June 30, 2007 was 1,653, we started with 1,630 as of July 1, 2007. As the membership as of Jan. 1, 2008 was reported 1,688, increase by 58 was materialized during the first semester of this period. This increase was largely due to the charter of Aso Club whose membership was 21. In addition to this, conspicuous increase was seen in each club of Kumamoto area. All these are brought about by the energetic endeavor of each club to increase membership and prevent drop-outs in response to the strong motivation by Membership 2000 Promotion Committee which started this year, which I very highly appreciate.

Increasing membership is essential for the sound management of whole organization, activation of our movement and the promotion of local and international activities. Let us keep on exerting all our powers to increase membership.

As to the “Club Mail Officer” system which started this year, 78 clubs out of 88 in total nominated officers, and the communication from the Region to clubs has been improved and expedited. It also contributed to the cost saving. Although I am afraid that the printing cost of clubs might have increased, I expect that all the clubs will make this system function as an effective communication network.

We have solicited the contribution of more than

YMCA支援とユースの育成のために「Yサ・ASF自由献金」に、一人1千円以上の目標額を定めてご協力をお願いしています。そのためにBFの目標額を10ドル減じています。本年度8月にバンコックYMCAパオヤセンターで開催されたユースコンボケーションには、西日本区のユース17名が参加しました。前期及び今期併せて749,200円とワンコイン募金542,281円の支援を行いました。2008年7月末にはデンマーク・ヘアニングで国際大会が開催されます。ここへも多くのユースを送り出したいものです。

国際統一事業であります「Stop HIV/AIDS」の事業は、地域奉仕・環境事業委員会とメネット事業委員会が良く連携し、区・部・クラブの各レベルで推進されています。これから取り込まれるプログラムの成功を祈ります。キャンペーン用クリアーファイルをご活用下さい。

主要な区の行事であります役員会は第1回を7月14～15日・第2回を11月17～18日、次期役員研修会を1月12～13日に終了しました。内容は別稿をご覧ください。

ファンド事業のBF・CS・TOF・FFの締切は3月末日で、昨年4月1日よりの累計で評価します。ご努力下さいました果実を、遅れないように送金して下さい。

2010年国際大会はパシフィコ横浜で開催します。東日本区がホスト、西日本区はサブホストをします。現在準備委員会の段階ですが、吉本貞一郎(副委員長)・森田恵三・柴田善朗・佐野文彦・森本榮三・神谷尚孝・佐藤典子・鈴木誠也(敬称省略)が委員を務めています。日本ワイズ運動の飛躍の時とする機会です。これから多くの実働委員の方々や資金についてのご協力をお願いせねばなりません。宜しくお願いいたします。

次期会長・主査研修会は3月15～16日に交通至便のチサンホテル新大阪で開催します。会長職を何年も経験された方も新しい学びや出会いがあり、ワイズ活動の大きな糧になります。是非ご出席下さい。

one thousand yen per person for the purpose of supporting YMCAs and developing youth activities. For this contribution, we have decreased the goal of the BF by the same amount. 17 youth of West Japan Region participated the Youth Convocation held at the Phayao Center of Bangkok YMCA last August. To such a participation, we have contributed 749,200 yen and 542,281 yen from one coin donation as a total of contribution in this and last year. The same convocation will be held in Herning, Denmark this year. It is our dream to send as many youths as possible to this convocation.

Our Unified Global Project: Stop HIV/AIDS Project has been promoted on the level of Region, District and Club under the collaboration among Community Service, Environmental Project Committee and Y's Menette Committee. Let us pray for all the success of the future program in this connection. Please make use of clear-files for this campaign.

Regional Board Meetings, which are the main events of the Region, were held during July 14 through 15 and during November 17 through 18, and the Officers-Elect Training was held during January 12 through 13. Contents of these meetings were reported in the separate sheets.

Remittance of BF, CS, TOF and EF under the fund program is going to be closed on the end of March, and your contribution is to be evaluated by the amount remitted between April 1, 2007 and March 31, this year. Please remit the fruits of your efforts in time.

International Convention 2010 will be held at Pacifico Yokohama. East Japan Region will host and West Japan Region will sub-host this convention. Following Y'smen in this Region are included in the Host Convention Committee;- Teiichiro Yoshimoto (Assistant Chairperson), Keizo Morita, Yoshiaki Shibata, Fumihiko Sano, Eizo Morimoto, Naotaka Kamiya, Noriko Satoh, Seiya Suzuki. The preparation is being made by the committee at this moment. The convention will be the opportunity when Japanese Y'sdom will make a leap into the future. Requests for service as a working committee member and financial cooperation will be made in future, and we solicit your cooperation.

Club Presidents and District Service Director Elect Training will be held during March 15 through 16 at Chisan Hotel Shin-Osaka, which has easy access to all the transportations. We hope all the eligible Y'smen will attend just to get the new knowledge or acquaintance or renew them. Please get the energy and nourishment which enables you to play your future role.

ご あ い さ つ



確信と思いやり

次期理事 佐藤 典子
(熊本ジェーンズ)

皆様、どのような新年を迎えでしょうか。私は理事スタートまで半年を切り、心にその責任感の大きな波が押し寄せております。

この半年間、次期理事として神谷理事の活動を学びながら西日本区の現状を把握し、自らのテーマを考えて参りました。まず、第一歩として昨年11月23日～25日、ソウルYMCA(韓国)にてRDEトレーニング(次期理事研修会)に参加いたしました。アジア地域の11名の次期理事が、バシール次期国際会長、藤井アジア会長や元国際役員の皆様から国際協会やアジア地域のことについて学びました。その中で、西日本区の現状や誇り、次年度の挑戦を発表することが出来ました。英語でのトレーニングは私にとって過酷な3日間でしたが、他区の次期理事をはじめ参加の皆様とすっかり仲良くなり、またひとつワイズの輪が広がり、出発前の心配が笑い話になるような素晴らしい経験でした。



RDE トレーニング 於：ソウルYMCA

また、この1月に行われました次期役員研修会にて次期役員の皆様と心構えを学び、次年度の計画を考える機会を得ました。次期の活動方針案も発表させていただき、この研修会を踏まえて3月の次期会長・主査研修会までには、理事方針を完成させたいと思っています。私の方針案は、「メンバーがお互いに思いやりを持って例会に参加すればおのずとその例会・ワイズは楽しいものになるでしょう。」を基礎としています。

また、区の運営では、ここ数年支出超過で繰越金の残高が減少し、運営に支障をきたしかねない状況にありますので区費を15,000円とすることを第2回役員会で提案させていただきました。各部およびクラブでご検討をお

願いたします。

この半年でテーマ「思いやり」への十分な準備を行いながら、確信を持って前進するワイズへの協力を行って参ります。次期会長・主査の皆様、3月の研修会にお待ちしております。



2000名に向けて“人は石垣・人は城” 忘れてならないアイデンティティー

直前理事 森本 榮三
(大阪高槻)

慌しかった理事職を終え、最近、やっと趣味の写真でも撮りに行こうかな、と思う余裕も出てまいりました。合わせて数々の課題に取組まれ、ご指導いただいている神谷理事をどの様に支えれば良いか、改めて考え直す余裕も出てまいりました。

私たちワイズメンは、イエス・キリストが示された愛と奉仕の実践を、青少年育成の先達であるYMCAと対等の立場で協働するという意識を持ち、行動することを忘れてはなりません。今、2000推進チームは各クラブの協力を得て会員2000名獲得に向け、汗をかき活動しています。

“人は石垣、人は城”は有名な武田節の一節です。元の歌は“人は城 人は石垣 人は堀、情けは味方 あだは敵なり”といます。石垣には基礎となる礎石があります。組織の礎をなすのは将であり、リーダーであります。孫子は、将とは智・信・仁・勇・嚴なりと言い、将は一朝一夕にはならないと言っています。「玉は琢磨によりて器となる。人は練磨によって仁となる」は有名な言葉です。私たちはイエス・キリストが示された愛と奉仕の実践のために、人材の発掘と質の伴った拡大に取組まなければなりません。そして個々の力を認め合い、切磋琢磨し、ワイズメンズクラブのアイデンティティーを大切にすることが求められています。

西日本区の会員の減少、年々高齢化する現状を見る時、聞き心地の良い言葉や、美辞麗句をいくら並べてみても、実績と人々の琴線に訴えるものがなければ絵に書いた餅になります。過去の固定観念を捨て、ひとり一人が真摯に汗をかいて奉仕し、次代のリーダーを育てるために積極的に働かなければならないと思います。



後半期に向かって

書記 望月 強
(大阪河内)

月日の流れるのは早いものです。私にとっては例年に無く早く感じています。書記をするに当たり準備期間を入れると既に1年が過ぎました。以前に役員会を外から眺めて、高みの見物をしていた頃は気楽に思っていた書記の仕事も、自分がその立場になると自分の無能さを感じています。事前準備はかなり周到に行なっているつもりですが、役員会当日には思わぬ質問が出たりします。中でも議論が議論を呼び取捨のつかない状態になります。言葉を選んで喋る事に慣れていない私にとっては、難しい問題でした。準備役員会が2回、そして役員会が2回と終えましたが、慣れるところまでは至っていません。書記の仕事は苦勞ばかりではありません。

9月から10月にかけては西日本区の各部会が開催されました。神谷理事のお供で金城書記、東事務局長共々参加いたしました。各部会ともそれぞれ趣きが違う、部独自の個性と部長自身の個性、其々が色濃く部会に反映した素晴らしい部会ばかりでした。我々は役員席を用意していただき一等席から舞台を見させていただきました。

九州部会ではチャーターナイトに立会い厳粛な式典があり、後の祝会では「にわか芝居」のドタバタ劇を見て楽しみ友好を深めました。翌日の阿蘇内輪山の名所めぐりも面白い体験でした。中部部会のセントレア空港内の部会も興味深く思いました。京都部会は西日本区大会さながらの迫力ある大会を目の当たりに見て京都部の熱気を感じました。びわこ部は瀬戸内寂聴さんをゲストに招いての講演会(お寺の境内で辻説法)、市民を巻き込んでのイベントを企画されました。彦根城の築城400年にちなんだ素晴らしい企画でした。

寂聴さんが「忘己利他」についても話されました。言葉の意味は「己をわすれて他を利することを目指す」私も後半に向かってこの言葉を噛み締めていこうと思っています。「忘己利他」は仏教の方では「もうこりた」と読むそうですが、決して職務が「もう懲りた!」にならないよう頑張らなくては…。



西日本区会計として

会計 金城 清輝
(和歌山紀の川)

2007年1月の次期西日本区役員研修会に参加して、早いもので一年が過ぎようとしています。この間予算作成では皆様と協調しながら区の活動を支え活性化を目論む中で、会員減少による減収を経費節減で、少しでもカバーできればと模索しましたが、十分な成果は得られず逆に、第1回役員会で国際協会への送金が、急激な円安により当初予算でお願いした円での金額では不足が生じるため、余儀なく追加補正をお願いせざるを得ない事態となりました。

9月に入り神谷理事に同行して、阿蘇クラブチャーターナイト・九州部会を皮切りに、京都、西中国、中部、六甲、中西、阪和、びわこ、瀬戸山陰と九部全ての部会に参加させて頂きました。共に参加した部長、事業活動を熱心にPRする主任、会員増強を強く訴える「西日本区2000推進チーム」の面々、次回西日本区大会への参加を呼びかける奈良クラブ・メンバーの方達の力強い思いには感銘を受けました。

また、全ての部会が部の特色を生かしたユニークなプログラムで構成され、感激すると共に各部の皆様と懇親が深まる交流ができ、ワイズメンとしてこれに優る喜びは無いと感激致しました。

下半期としては、第2回役員会で提案されました、来期より区費を1千円値上げする件は、部長が持ち帰り各クラブのご意見を伺う事になっています。また、2010年横浜国際大会が横浜で開催される事に伴い、東西日本区がそれぞれ750万円支援する事が決まりました。しかしこの支援金の出金について、どの様に取り扱うかの問題が出ており、第3回役員会で審議していただく事になっています。

この様な区会計の現状を、全メンバーの皆様に良くご理解頂いてスムーズに解決出来ればと願っています。

難題を抱えてはいますがあと半年、神谷理事の下、会計職を全うする事に加えて、キャビネットの一員として楽しみながら遂行したいと思います。



円滑な行政の推進を

行政監事 佐野 文彦
(四日市)

今期はITのノウハウを駆使して「クラブ・メール委員制度」を取り入れ、西日本区内の敏速且つ効率のよいコミュニケーション・ネットワーク作りを試みている。最初はメールによるやり取りに多少の不安があったが、慣れるに従い順調に機能しているようである。ただ返答を要求しても反応が無かったり、メールを本当に読んだのかどうかを確認しなければならない点などが今後の課題として残る。西日本区の役員及び全てのワイズリーダーは、ワイズの行事予定を十分理解し時期的にメールが来ることを予想して待つことは無理であろうか？また読んだら必ず相手に応答するマナーを身に付けたいものである。このことが組織を動かすマネジメントの向上に大いに役立つものと思う。

組織が大きくなり、その構成員が多くなると意見がいくつにも分かれて、その組織の意思決定が難しい場合がある。従って理事事務局などが役員会を開く時、事前に議案整理をし議事法の習得に心掛ける必要がある。また全てのワイズリーダーは、理事事務局と区事務所の役割分担を明確に理解しておかないと事務的な混乱が起こることに注意して頂きたい。現在は、まだ区事務所の職員2人体制が実現していないが、ワイズのモットー「強い義務感を持とう…」を良く認識して頂きレポートの提出や金銭の納入などについて“期日厳守”にご理解とご協力をお願いしたい。

ワイズ運動が強力に推進されるには、区レベルだけでなく部やクラブレベルでも、ワイズリーダーが強いリーダーシップを発揮することが求められるが、これはリーダーのガバナンスの問題でもある。理事ゴールやクラブのゴール等を目指し、全ての会員が共通の使命に燃え後期の活動を続けることを期待する。組織運営上最も避けなければならないキーワードは「惰性と怠慢」である。



区財政の健全化について

財政監事 柴田 善朗
(京都さくら)

今期も早や半年が経過し、後半を迎える時期になりました。時の推移の速さには今更ながら驚いてしまいます。神谷尚孝理事のリーダーシップのもと多忙な半年であっただろうとご苦勞が偲ばれます。どうか理事をはじめ役員の皆さまが一丸となって、後半を西日本区発展のためにご尽力賜りたいと存じます。

さて、現在の西日本区は会員数が減少している事もあって、例年赤字予算が組まれて次期繰越金を減らしながら運営されています。この状況のなかで区費の値上げについても役員会で議案が上程されました。この件については現在各部の部長が任地に持ち帰り各クラブの皆さまと検討して頂くことになっていますが、区費の値上げは、特に慎重に判断する必要があると、区の組織に改善する余地や必要がないのかを検証すべきだと考えます。区の行政のうち特に会計部門に関しては西日本区全メンバーのご理解と、ご納得を頂かなければならないと考えるからです。またこれについては前年の森本理事期に吉本貞一郎ワイズから役員会に提出された「西日本区の組織スリム化について」が承認され、区財政健全化委員会が立ち上げられ検討がなされました。しかしながら簡単に結論が見出されるものではなく、今期に、そして次期佐藤理事に引き継がれて検討が続けられていきます。いかなる状況であろうとも、区の重要な部分ですので、理事の引継ぎ事項として十分な連携を保って頂きたいと思えます。これこそが、区のメンバーに対する説明責任であると考えます。

今期は2010年に開催される国際大会への取り組みに関する問題、特に本大会をホストされる東日本区に対する協力金等について役員会で取り上げられるようになりました。現在、西日本区が東日本区に対して750万円を上限として支出し協力することが決定されていますが、会計的にはどこから支出するかは未決の状態です。

前期にEMC事業委員会の小委員会として「西日本区2000推進チーム」が設置され松岡義隆委員長を中心として強力な活動をすすめて頂いておりますが、実質的な活動の開始が今期になったために、その活動のための経費の予算化ができていませんでした。現在は多くのメン

バー・メネットの「西日本区2000」ピンバッジ購入の協賛金によって支えられておりますが、この点も次期の問題として提起されるべきところだと思います。今期の区行政の中で、会計面につきましては区会計と経費処理の

推移などを多方面から検証してご相談しながら大きな赤字決算にならぬよう財政監事の立場で協力していきたいと思っております。

事業活動報告



前期活動報告 “ユースと共に、平和を築こう！”

Yサ・ユース事業主任 大野 勉
(神戸ポート)

1. 事業主査・事業委員懇談会

2007年7月1日(日) 於神戸YMCA

年度の初めに、活動方針や各部の活動計画等について意見交換を行った。後、懇親を深めた。

2. 第22回アジアエリアユースコンボケーション

2007年8月8日～12日

於タイ国パヤオ県YMCA パヤオセンター

西日本区からの参加は、ユース17名。オブザーバーとして主任が参加。(報告書参照)

大会のテーマ

「Youth-Our Heritage (ユース-我らの継承者)」



3. Y・Yフォーラム各部開催

○9月8日(土) 阪和部 於大阪南YMCA

テーマ「YとY'sとのええ関係」



○10月27日(土) 中西部 於土佐堀YMCA

テーマ「Y'sの源流を求めて」

○1月5日(土) 六甲部 於神戸YMCA

テーマ「平和ってどんな形？」



4. チャリティーラン各部開催



11月3日(土) 六甲部 於 しかわせの村

11月23日(金) 西中国部 於 宮島

11月23日(金) 中西部・阪和部合同

5. 中越沖地震被害者支援募金協力

6. 後期の予定

(1) YY フォーラム各部開催予定

- 3月30日(日)九州部 於 熊本
- 4月13日(日)びわこ部
- 4月20日(日)京都部
- 4月29日(火)瀬戸山陰部

(2) ユースコンボケーション 2008

国際大会参加への取り組み

7月28日～8月3日 於デンマーク

費用等詳細については、2月末決定

各クラブで推薦し、部長の承認を得て参加申込みをお願いします。(4月末まで)

(3) ユースワンコイン運動の展開

ユースコンボケーション参加者への支援として活用させていただきます。4月末をめぐりに西日本区へ納入ください。

(4) Yサ・ASF 資金自由献金要請

メンバー1人1000円以上の献金をお願いします。



上半期の取り組みについて

地域奉仕・環境事業主任
岩間みどり(大阪ヴェクセル)

3つの柱で今期がスタート

- ・5ヵ年継続国際統一事業「STOP HIV/AIDS プロジェクト」
- ・後世に平和で美しい地球を伝えるための環境問題への取り組み
- ・ワイズメンの奉仕の心を伝えると共に、ワイズメンズクラブの信頼や認知度を上げる、地域奉仕活動

上半期の地域奉仕・環境事業報告

地域奉仕・環境事業・メネット事業合同研修会を開催

BASE KOBE 代表繁内幸治氏を迎え「HIV/AIDS とどのように向き合うのか」と題した講演会を行いました。併せて今期より区の事業として取り組む環境問題について、共に学びの時間を持つことができました。西日本区各地から約130名の参加を頂き、本事業の取り組みに対する意識の高さを感じました。

前期CSノベルティグッズとして作成されたクリアファイルは「HIV/AIDS 理解」のために部会や各クラブ

の地域奉仕など10件の事業で活用されました。

・10月14日(日)びわこ部一般市民公開「瀬戸内寂聴さんのお話を聞く会」では1500



人を超す市民の皆さんに HIV/AIDS のこびわこ部会瀬戸内寂聴師の法話を聴く聴衆とワイズメンの取り組みを知って頂く資料としてクリアファイルを配布しました。寂聴さんのパワー溢れるお話とびわこ部の皆さんの情熱で大盛会となりました。



わいわいフェスティバル

・大阪河内ワイズメンズクラブでは10月14日(日)大阪樟蔭女子大学にて、大阪 YMCA125 周年(東 YMCA35 周年、サンホーム10周年)記念事業として、「わいわいフェスティバル」が開催されました。

歌を通じて地域の方々と、また、世代を超えて繋がれたらという企画でした。老若男女約300名の地域の方々と楽しい時を持ち、HIV/AIDS 理解を広める活動も出来て、楽しく意義深いフェスティバルになりました。

・彦根シャトーワイズメンズクラブが主催する恒例の「ワイズちびっ子ウェルネス大会」は14回目を迎えました。指導者・父兄・YMCA・ワイズメン等、約700名の協力を得て市内15学区27チームの参加がありました。午前中は翌日の彦根シティーマラソンコースを中心に清掃活動、午後から大縄跳び大会を行いました。

・CS事業資金援助は5件の申請を受け、事業委員会を経て現在2件の支援決定を行いました。

・京都キャピタルクラブ「ふれあい広場」支援活動視覚障害の方々をサポートし、楽しい体験と交流の場として企画されました。神戸フルーツフラワーパークで、りんご狩りとテーブルマナー講習会を楽しみました。視覚障害者の方々、支援者、キャピタルクラブメンバー



京都キャピタル「ふれあい広場」



夏休み夕涼み映画会

合わせて102名の参加でした。

・名古屋南山ワイズメンズクラブでは地域の子供たちを招待しアニメ映画を楽しむ「夏休み夕涼み映画会」を開催しました。ムーミンの映画とリーダーのゲームで楽しい会になりました。

下半期に向けて、地域奉仕・環境事業の企画・取り組みをお願いいたします。

CS事業の活性化に CS 資金をご活用ください。「CS 事業資金援助」の申請をお待ちいたしております。

また FF 資金は、西日本区独自に日本やアジアで厳しい状況に置かれた子供たちの健全育成にむけ使うことの出来る資金です。支援先の候補として、支援を必要としている子供たちの施設や団体をご推薦ください。

2月はTOF・CS・FFの強調月間です。地域奉仕・環境事業活動支援のために一人ひとりが理事ゴールを達成いただけますよう、ご協力をお願いいたします。



EMC 事業前期活動報告

EMC 事業主任 澤田 賢司
(京都グローバル)

神谷理事の特命を受け、西日本区発足10年間の会員減少に付き、区全体で危機感を持ち会員増強と、会員維持を最重要課題として取り組んでいただける様、各クラブ会長にクラブの増強目標数と適正会員数及び増強を成功させる為のアンケートに答えて貰い全88クラブから漏れなく提出頂きました。各部の増強目標は下記の通りです。
() 内数字は11月末迄の実績。

中 部 28名(4) びわこ部 23名(5) 京都部 109名(17)

阪和部 36名(8) 中西部 37名(3) 六甲部 26名(5)

瀬戸山陰部 16名(2) 西中国部 8名(0) 九州部 62名(30)

合計：目標数345名、実績74名、達成率21.4%

(入会者85名、退会者11名)

達成率：21.4%に終わる

各部、各クラブは増強目標を“絵に描いた餅”に終わらせないためにも全て計画的に行い、候補者を誘えるクラブとして親睦と、学びの場となる様変換して頂きたい。

具体的な活動

上半期は、「危機感を持って！会員増強と会員維持！」を強く掲げ、「西日本区2000推進チーム」と共に、九州部を皮切りに全ての部会、京都部、阪和部、西中国部を除く六部のEMCシンポジウム、25回に亘るクラブ例会・合同例会(延べ33クラブ)に出席し、衰退に至る原因や増強できない理由、高齢化から来るクラブ運営のマンネリ化等、地域性やクラブ事情はあえて考慮せず奮起、奮発して頂くため叱咤激励を呼びかけて参りました。

またこれらの部会や、シンポジウムでは「西日本区2000」のピンズバッチへの協賛をお願いし、「2000推進チーム」の活動内容のご理解と、会員増強の思いを一つにして頂くよう訴えて参りました。多くのメンバー・メネットの方々のご協力に感謝申し上げます。

この他、幸いにも西宮、大阪河内、奈良、長浜、神戸ポート、金沢クラブ訪問時に、新入会員の入会式に立会いさせて頂き激励する機会を与えられ、クラブステータスを充分体感するよう要請も致しました。

また、これらの活動報告は西日本区H・Pに即刻アップしています。詳細はそちらを参照願います。



九州部 EMC
シンポジウム (7/1)



瀬戸山陰部 EMC
シンポジウム (8/19)



びわこ部 EMC
シンポジウム (11/3)

これらの活動は全て前期、EMC 事業委員会傘下と位置付けられた「西日本区 2000 推進チーム」との共同活動として実施致しました。同チームの組織、活動については松岡委員長の報告をご覧ください。

今期スタートの上期半年報は 1630 名。1 月 1 日付け後期半年報は 1688 名。入会者 85 名、退会者 27 名で実質増 58 名の結果となりました。ドロップ会員の減少を図る事の重要性を認識して頂きたい。

後期の活動計画

後期に予定している部の EMC シンポジウムへの参加と、模擬例会用 DVD の活用で、各クラブに自主的に会員増強のための例会の実施を啓蒙する事と、「2000 推進チーム」と協議し、要望有るなしに関わらず会員 15 名以下のクラブに講師の派遣を実施したく思います。

何れにしても“魔の 6 月 30 日”と、西日本区発足以来囂かされている期末の大量退会者に、ピリオドを打つべく事業委員会、2000 推進チーム一団となって頑張っていくとの強い思いを維持し活動を続けます。



『西日本区会員増強 2000 名！ 思いひとつに、今行動のとき！』

西日本区 2000 推進チーム委員長
松岡 義隆
(長浜)

前期 EMC 事業委員会傘下の特別委員会と位置付けられた当『西日本区 2000 推進チーム』は、14 名の推進メンバーで構成され、以下に示す四つのグループで、西日本区の 9 部を分担し、部や、各クラブを訪問し夫々が抱える問題点の聞き取りや、例会のプログラム、進めかた等を実際に目と耳で体感することで、改善策の提案と、激励を実施して参ります。

また、例会運営の参考として頂く模擬例会の DVD を、3 月の次期会長・主査研修会の際、各クラブにお渡しすべく作業を進めています。

『西日本区 2000 推進チーム』組織



☆印・・・グループリーダー

A グループ・・・中部・びわこ部担当

☆渋谷洋太郎（金沢） 栗原正明（四日市）

松岡義隆（長浜） 井之上温代（滋賀蒲生野）

B グループ・・・京都部・阪和部・中西部担当

☆新山兼司（京都トップス） 澤田賢司（京都グローバル）

遠藤通寛（大阪泉北） 森本榮三（大阪高槻）

阪田民明（京都グローバル）

C グループ・・・六甲部・瀬戸山陰部担当

☆阪本伸彦（神戸学園都市） 橋崎恵子（姫路グローバル）

D グループ・・・西中国部・九州部担当

☆田上 正（熊本むさし） 内村忠生（熊本みなみ）

高瀬稔彦（岩国）

西日本区最重要問題解決のため、一騎当千のメンバーを結集したと自負しています。今期だけでなく目標達成まで継続して活動を続ける決意である事をご理解頂いて、何卒このチームの活用を図って頂き、全てのクラブの活性化に繋がるようご協力をお願いします。

<前半期の活動>

●今期、最初の活動として、EMC 事業委員会と協力し、各部会や、EMC シンポジウム、クラブ例会に同行し「2000 推進チーム」『ピンズバッチの協賛』を募ったところ大勢のメンバーから温かい協賛金を頂きありがとうございました。この結果協賛金は約 100 万円となりました。「2000 推進チーム」一同心より感謝申し上げます。貴重な協賛金は有効に下記の活動費に活用させていただきます。

- ① クラブ模擬例会・入会式の DVD 2 月末完成予定
(3 月中旬に各クラブに配布する予定です)
 - ② クラブ啓発 EMC 講師リスト作成及び派遣・・・随時
 - ③ 新入会員オリエンテーション冊子の作成
 - ④ 会員勧誘の為のリーフレットの作成
- ②～④項については今期末～9 月に完成予定。

●全部会にメンバー数名が EMC 事業主任と同行し、チームのアピール及びピンズバッジ協賛金の協力依頼。6 部で開催した EMC シンポジウムに参加し同様アピール。



縁起だるまと共に 2000 名達成の願いを込めるチームメンバー

● 25 回延べ 33 クラブ例会に参加しアピール。

● 上記③、④項の資料収集と編集作業

クラブ発展のためにクラブ運営の意識改革・クラブ訪問で激励し、ドロップ会員の把握に取り組みたいと思います。2000 推進チーム 14 名は、熱意と情熱を持って活動します。今後ともご支援よろしくお願い申し上げます。



ファンド事業上半期報告

ファンド事業主任 前田 文夫
(姫路グローバル)

1) 活動計画と実施状況

① 各部会を訪問しファンド事業をアピール

各部会に出席し、ファンド事業のアピールを行った。同

時に各部会の日程に

合わせ、全てのファ

ンド事業主査と部

長に、あらかじめコ

ピーを配布し事業の

アピールをお願いし

た。(残念ながら所要のため、京都部、中西部の両部会

には出席できなかった)



神谷理事も同席のもと、前・次期ファンド事業主任と共に

② JWF & EF の上半期状況：(12 月末現在)

・ JWF：¥540,000 (目標額：¥10,000 以上を 50 口)

・ EF：¥285,000 + \$ 1,000 (目標額：US \$ 100 を 30 口)

・「専用礼状テンプレート」を作成し、全てのファンド事業協力者に対し E-Mail にて礼状を送付した。

③ B F デリゲート：パーシャルグラントの申請

2008 年は国際大会がデンマークのヘアリングで開催され、北村久美子さん(大阪西)を申請中。

2) 下半期の活動予定

① JWF & EF の継続アピール：

・ 西日本区役員に対し、ファンドの協力依頼を行う予定。

・ 引続き JWF & EF の意識向上の為、アイデアを考えて主査を通してアピールを予定。

② B F ファンド目標達成のアピール

今期目標が \$ 15 (¥1,900) / 人と低く設定されているので、切手及び現金補充により殆どのクラブが達成出来るよう啓蒙したい。

3) その他

① ファンド事業委員会の開催 (1 月 12 日)



上半期の交流事業活動報告

交流事業主任 吉岡 毅
(京都ウイング)

今期事業主題として「世界の Y's と共に語らおう」を掲げ、IBC、DBC 締結による内外のワイズメンとの交流事業の楽しさや、また若いうちに海外の異文化や習慣など学び体験する STEP・YEEP 事業の希望と受け入れを各部会に参加しアピールさせて頂きました。

STEP 事業受け入れ

ノルウェーから 16 歳の Undheim.Elda 君が 7 月 20 日～8 月 1 日まで、西日本区を訪問しました。



(京都部ウイングクラブ、六甲部宝塚クラブ) での受け入れホームステイされました。

京都部、六甲部での交流事業情報交換会を開催



8 月 31 日京都部交流事業委員会にて



11 月 16 日六甲部交流事業委員会にて

今後の主な活動予定

1. IBC 事業について

- 京都トゥビークラブが 10 周年記念事業に東南アジアとの IBC 締結を検討
- 京都みやびクラブが東南アジアとの IBC 締結を検討
- 中部四日市クラブがオーストラリアシドニーとの IBC 締結を検討
- 六甲部芦屋クラブがヨーロッパ地区の IBC 締結を検討

2. DBC 事業について

- 六甲部芦屋クラブが 10 周年記念事業に東日本区北東部もりおかクラブとの DBC 締結を検討

3. STEP 事業として

a) 中西部大阪土佐堀クラブ只野準一メンのワイズリングがヨーロッパ地区を希望されている。

4. IBC、DBC 情報収集

a) 現在 IBC、DBC 締結後、疎遠になっているクラブの調査と、西日本区各クラブの IBC、DBC 締結に向けてへの準備。

また、関係の各部・各クラブには、上半期の活動に御協力頂き感謝申し上げます。



動くこと、知らせること

広報事業主任 守田 富男
(八代)

各部、クラブの皆様には広報事業に積極的に取り組んで頂き心より感謝申し上げます。

クラブの活性化と広報は関連しています。会員個人やクラブの活動そのものが最も効果ある広報活動と言えるのではないのでしょうか。信頼ある人間関係の中で伝わる情報(クチコミ)に勝るものはありません。広報事業はワイズの活動をサポートするものです。動きがなければ広報活動も有り得ないからです。

幸いなことに、この半年、各部、クラブで活発な動きがあり、広報事業もそれに伴う形で展開しています。

(1) プレスリリースの発行

プレスリリースの雛形ならびに、マスコミ連絡先一覧を西日本区ホームページの広報事業主任のページからダウンロードできるようにしましたので活用下さい。特別なゲストを招いての例会や、ユニークな活動など、多くの方に知らせましょう。

九州部では、9月に誕生した阿蘇クラブチャーターが地元経済誌と熊本日日新聞に掲載されました。宮崎クラブは5周年事業でミュージカルチケットを養護施設に贈呈し宮日新聞に掲載されました。10月の、びわこ部会の「瀬戸内寂聴さんのお話を聞く会」には、一般市民1500人が集まり、彦根新聞に大きく掲載されています。

(2) クラブ紹介パンフレットの作成

クラブ紹介パンフレットは、EMCに結びつく有効なツールです。九州部では熊本みなみクラブが、活動写真をメインに手作りのパンフレットを作成し、例会でビジターに配布するなど活用されています。パンフレット作成を通して、ワイズとは何か、自分たちのクラブの特徴は何か改めて考

える機会が持てるのではないかと思います。

(3) ホームページの更新と新設

文字と写真が中心であったホームページですが、最近では、動画や音声によってクラブを紹介するものが見受けられるようになりました。京都部では、京都クラブがラジオカフェというFM局で月1回の番組を持っています。放送された番組は、京都クラブホームページから聴くことができるようになっています。

九州部ではブログの立ち上げが進んでいます。写真や文章、動画を簡単にアップできるため、ホームページと併用しているクラブもあります。8月に熊本ジェーンズクラブがブログを開設し、10月に宮崎クラブ、鹿児島クラブ、11月は博多オーシャンクラブ、大分クラブ、熊本ひがしクラブ、11月25日には、亀浦広報事業主



査の自宅でブログ開設講習会(写真)を開催し、5クラブ17名が参加しました。その後、熊本クラブ、阿蘇クラブ、と8クラブのブログが新たにスタートしました。また、個人ブログの立ち上げも進み、ちょっとしたブログブームの様相を呈しています。ホームページ開設は敷居が高いですが、ブログなら簡単に開設できます。新たな広報ツールとしての活用を推進したいと思います。

2007年を象徴する漢字は「偽」でした。そんな時代だからこそ、本物が求められています。私たちワイズメンズクラブは本音で活動している奉仕クラブであり、友好団体です。未来に希望をつなぐワイズの魅力を一人でも多くの人に伝えるため広報事業を進めていきましょう。



楽しみましょう!! メンと共に。

メネット事業主任 林 成子
(奈良)

ワイズメンの皆さんに3つのお願いを掲げスタートした今期のメネット事業も半期が過ぎました。

無我夢中で(何も解らないから走れたのでしょ)一人でも多くのメネットさんが、メンさんと仲睦まじくワイズライブを過して頂きたい一心で走って参りました。月日が経つにつれ、各部、各クラブの事情と状況に温度差もあり、私の思いをセイブしなければと、ブレーキを掛けて進んで参りました。

九州部会をスタートに各部を廻らせて頂き、部長様を初めとして、何処のメンさんも優しく、メネットの存在を意識して頂きました。

クラブ内でメネットならではの役割を頂き、積極的に加えて頂いた所も有ります。まさに九州部の、宮崎クラブのメネット会設立はそのものです。半数が女性メンで構成されている宮崎クラブ、高齢者の介護などで夜の例会参加が困難に成って来ている複数メンバーの現状打開策として昼間例会開催の「メネット会立ち上げ活動」としてスタートされました。六甲部の芦屋クラブも女性メンが中心となつての設立です。

メネットさんと呼び寄せて頂いた事にとても嬉しく、満足感を覚えました。宮崎クラブ、芦屋クラブのメネット会が、メンと共に有意義な活動が出来ます事を、心より期待致しております。

又、メネット事業に寄せる支援金を、メネット独自のファンド作りでお願い致しましたが、これも全てメンさんの協力によるもので、これこそクラブ内の状況が大切となり、なかなかメネット独自の支援金作りは難しい事も多いようですが、メネットファンドに感心を寄せて下さったクラブも多く、今期これからもお願いして参ります。どうぞ宜しくお願い致します。

WYSHへの支援も、支援金のみならず、若者を取り巻く現実を直視し、エイズと共に如何に生きてゆくか、若者自身が自分を大切に、夢と希望を持って人生を歩むよう、私達大人がサポートする意味でも、身近な若者にエイズの事を話してあげて下さい。

2007～2008年度

西日本区メネット事業支援金のお願い

1. 国際プロジェクト

国際プロジェクト支援先は下記の4カ所で、2003～08年まで同じところです。

- ロシア・エカテリンブルグ（アンタイ AIDS のポスターを子供たちが描く）
 - ボリビア・コチャバンバ（周りの地域に HIV/AIDS の防止を知らせる）
 - コスタリカ（HIV/AIDS 予防の若い人々への自覚 & 訓練）
 - ウガンダ・カンバラ（ブワンボでの HIV/AIDS 自覚と防止）
- ◎いずれも「STOP HIV/AIDS」を支援しています。

2. 国内プロジェクト

子供の幸せを願う、エイズ若者予防教育への支援、WYSH グループへ

WYSHとは Well-being of Youth in Social Happiness の略です。

全国の子どもや若者達に、1日でも早く、1人でも多く、この素晴らしい人間形成に基づく、エイズ若者予防教育プログラムが実践されますように！

国内プロジェクト支援金は WYSH の指導者養成研修事業やポスター等啓発の一部にご活用頂きます。

WYSH プロジェクト代表者

・木原 雅子先生（京都大学大学院医学研究科准教授）

3. RSD 支援（Regional Service Director）

◎ 西日本区メネット事業主任への支援

各部会やメネットアワー、イベントに廻らせて頂きメン、メネットの皆さんと互いに意見交換をしながら、今期の西日本区メネット事業をご理解頂くよう努めております。

部 活 動 報 告

中部 前期活動報告

中部部長 三井 秀和
(名古屋グランパス)



部長主題の「絆をつよめ、広げようワイズの輪」を掲げ、半期が過ぎました。

まず残念ながら中部在籍 10 クラブでありましたが、富山クラブが永きの歴史を終え、9 クラブとなり非常に厳し

いスタートを切った今期でありました。

130名のメンバー数で始まった中部でありましたが、半期経過した現在 136名となり、多数の退会者もありながら、増強された結果で半期を終えることが出来、ご尽力頂いた中部メンバーには心から感謝申し上げます。

更に EMC 活動の強化とクラブ活性化を求め、主題に掲げた「絆」について各クラブには合同例会、合同プログラムの計画と実行を求めました。合同行事を行うことで横の繋がりを強め、その流れが増強に結び付き、ひい



第11回中部部会 9/16 於 中部国際空港セントレア

ではメンバー各位の満足になることを信じて半期を終え、更なる目標を持って後期を努力してまいります。

<前半期の具体的な活動>

夏に「日和田高原祭り」にてYMCA 模擬店を出店し、8月に中部第1回EMC研修会を初めて開催しました。9月の中部・部会は中部国際空港「セントレア」にて160余名の参加を得て評議会とメネット会、部会に続き親睦会を開催できました。在名5クラブの支援を得て永年続けています国際街頭募金も実施できました。

11月には秋晴れの下、名古屋YMCAチャリティーランが多数の協力、支援を得て行われ多大な資金提供をして頂き



チャリティーラン支援

ました。12月には恒例の名古屋駅前のクリスマス・タワーライトで、160名でのクリスマスソングでYMCAの名を広くアピールすることができました。



クリスマス・タワーズライトでのコーラス

また、今期は昨年に引き続き設立記念周年例会の当たり年で、名古屋クラブが60周年、四日市クラブも30周年を迎えられました。



名古屋クラブ60周年記念例会



四日市クラブ30周年記念例会

11/17

<後半期の活動予定>

後半は年6回開催されている7クラブ会長連絡会にて意見交換をし、2月の部役員会、3月の評議会を開催し更に活性化する中部に向けて努力致します。



前期活動報告

—YMCA との協働を企るなかで—

びわこ部部長 戸所 岩雄
(彦根シャトー)

YMCA との協働を企るなかで、活動プログラムへの協力はもとより、びわこ部の持ち味である恵まれた自然環境の中での活動、特に「風の谷キャンプ場」運営に関して、部メンバーあがての協力を行う。又部内の各クラブが独自で行う地域に根ざした社会奉仕活動を支援し、広報活動(パブリシティ)

を通じ、活動への理解と活動内容を市・県民に周知すると共に活動への参加を呼びかける。部会の際に開催する『寂聴さん



寂聴さんの説法を聴く聴衆

のお話を聞く会』もその一環と考え、又部内のクラブ間の交流を活発化させ、情報交換とより効果的なワイズメンズクラブ活動の推進をはかる。「びわこネックス構想」その議論のなかで部の一体感をメンバーの意識の中に生み出し、志を同じくする人々の輪を拡げ、より効果的にYMCA をサポート出来ればと考える。

と謳いスタートした本年度。

○「風の谷キャンプ場」運営に対する部メンバーあがての支援



滋賀YMCA「風の谷キャンプ場」開設ワーク参加の方々

7月1日、びわこ部発足以来、今日まで滋賀YMCA との協働で整備されてきた滋賀YMCA「風の谷キャンプ場」の夏季プログラムがスタートする前の「開設整備ワーク」を、部内全7クラブが参加し行いました。各クラブが、食事・場内清掃・整備・テント建て等をリーダーとの協働

で行い又、プログラム期間中全クラブのメンバーが交代で延べ16日間リーダーのサポートを行い参加の子供やリーダー達と交歓の時を共有出来たことは有意義であった。

○クラブ間の交流とワイズメンズクラブ活動の推進

4クラブ合同納涼例会(8/4)始め、合同例会や互いの例会に参加する機会を増し、刺激と学びの効果が高まりました。公式訪問には数名の主査が同行、又「2000推



近江八幡・彦根・彦根シャトー・長浜4クラブ合同納涼例会

進チームタイム」を設け、委員長や委員の方々によるアピールと協力を仰ぎ、メンバーの士気を高めるのに努力しました。

○他の団体との協働・支援

第10回となる「全国視覚障害者駅伝-希望が丘」は、前日の会場準備から当日の運営協力に全7クラブのメン



第10回「全国視覚障害者駅伝大会」支援びわこ部員

バー参加があり、他団体との協働の実践の機会となりました。この大会は本年度にて終わりとなるので主旨にそった他団体とのコラボレーションを模索したいと思います。

○市・県民を巻き込んだ奉仕事業の展開

第12回「びわこ部会」(10/14)に先立ち市民サービスとして企画・開催した「瀬戸内寂聴さんのお話を聞く会」には、市民1500名とYMCAワイズメン関係300名の参加があり、企画段階から多くのメディアに取り上げて貰い、そのパブリシティ効果を高めることができました。参加者には「STOP HIV/AIDS」クリアファイルの配布とワイズメンズクラブ活動のPRを行いました。びわこ部会も260名の参加を得、大いなる親睦と交流・学びの場となりました。

公式訪問、びわこ部会をキックオフと位置付け、下記のように具体的活動をスタートさせました。

・11月3日(土)に「EMCシンポジウム」を開催し、「ク



びわこ部会 ホストの彦根シャトークラブの面々

ラブ増強の実践」について議論と学習を深めました。

・メンバー間及びYMCAとの交流事業として11月25日「びわこ部チャリティー交流ボーリング大会」を開催し親睦を深め、その中で生じたチャリティー募金を滋賀YMCAへ寄贈しました。

・12月には彦根、近江八幡他の地で行われた「クリスマス市民の集い」の開催に協力し、市民の皆様(親と子供たち)にYMCAの活動をアピールすると共に楽しい一刻をもつことが出来ました。

<後半期の活動計画>

○「びわこネックレス構想」のもつ問題点と可能性を具体的レベルで検証

4/19(土)に開催を予定しているYYフォーラムは開催地を湖西の地とし、懸案であるYMCAランチ、ワイズメンズクラブの滋賀でのエアポケットを埋める試みとして開催します。内容は画家ウィリアム・ブライアン氏に「滋賀に住む外国人としての視点」から環境、自然、景観について語ってもらい問題提起をし、市民、県民と共に議論し、YMCA、ワイズメンズクラブの存在を認知頂くと共に地域奉仕の一環としたいと考えています。



京都部上半期の活動報告

京都部部长 新山 兼司

(京都トップス)

「京都部555を目指してYと共に更なる飛躍を！」を主題として掲げ、副題として「元気・やる気・根気・本気」で今期がスタートしました。今期の京都部は新しいメンバー獲得の為に、メンバー間の意識の向上・所属クラブの活性化をそれぞれのクラブで検討していただき活発な活動をして頂く事をお願い致しました。今期のスタート前6月22日に第一回京都部EMC委員長会を開催し、何故今メンバー増強なのかを説明させて頂いたところ、皆

さんから活発な意見が飛び出し、例会のあり方や新入会員獲得の為の心構えや、会員になられてからのフォローの仕方迄大変貴重な意見交換会になったと思います。

6月24日はリトリートセンターの開設ワーク、また7月1日・7月8日はサバエキャンプ場開設ワークが行われました。京都YMCAは両施設を用いて多くの子供達に野外教育の場として利用しています。



リトリートセンター



サバエキャンプ場

7月20日京都YMCAに「京都部広報板」を設置し、必要な情報を掲載しています。7月21日と8月4日は、新潟中越沖地震街頭募金を四条河原町にて行いました。街頭募金額・各クラブからの募金、京都YMCAからの募金・個人からの募金を合わせて総額603,381円となりました。ありがとうございました。



京都部広報板



新潟中越沖地震街頭募金

8月31日京都YMCAにて、京都部交流事業懇談会を開催致しました。西日本区吉岡交流事業主任も来て頂き、IBC、DBCの活動状況の報告とYEEP、STEPの情報を各クラブに提供して頂きました。9月9日第12回京都部・部会をウエスティン都ホテル京都で開催しました。489名の参加者でワイズのフェスティバルとして多に盛り上げ楽しんで頂くというコンセプトで行われました。ソウライブやチアガールのダンス・クラブ対抗クイズもあり、大変賑やかで華やかな部会になりました。



また、部会の開催前に京都部メネットアワーが同ホテルにて行われました。メネット同士の親睦を深めマンドリンの演奏を楽しんで頂きました。9月21日京都YMCAにて地域奉仕・環境事業懇談会を開催致しました。渡邊アジア地域CS主任も来て頂き、地域奉仕・環境の各クラブ毎の活動状況の報告とアジア地域における活動状況の報告をして頂きました。クラブ独自でされている事業が大変多く色々な面で



国際協力募金



オータムフェスタ

参考になった懇談会でした。10月19日三条森田屋にて広報事業懇談会を開催致しました。広報事業アンケート調査の結果報告や各クラブの広報における意見交換を行いました。11月3日YMCA国際協力募金を全クラブで行いました。市内11ヶ所で行われた募金活動に、ワイズメンズクラブメンバーやメネット・YMCAリーダー・子供達の参加があり、街行く皆様から473,320円の寄附を頂戴しました。この募金は京都YMCAから日本YMCA同盟を通じ国際協力活動に使われます。



11月11日ワイズデー&オータムフェスタをリトリートセンターにて行われました。ワイズデーの理解と各クラブによる手作りの料理を楽しみ、音楽を聴き、力のこもった綱引き大会もありました。一般参加者を合わせ288名の参加がありました。大変楽しい一日を過ごさせて頂きました。11月18日京都クラブ60周年記念例会がホテル日航プリンセス京都で行われました。さすがに京都で一番歴史のあるクラブであって記念例会の手順や活動報告



の内容も素晴らしいものがあり感動する記念例会でした。12月14日会員クリスマスとロビーコンサート

が京都YMCAで行われました。大変多くのご参加ありがとうございました。

下半期に向かって期首に掲げた目標を積極的に推進し励んで参りたいと思います。皆様のより一層のご参加とご協力をお願い申し上げます、報告に代えさせていただきます。



07-08 阪和部上期活動報告

阪和部部长 遠藤 通寛
(大阪泉北)

期初からの活動報告をすべきですが、公式訪問のスケジュールの関係から6月より報告させていただきます。

この第2号は私のクラブ訪問等を中心に記載しておりますが、第3号では、クラブ訪問では見えない各クラブの活動を報告したいと思います。

第1回評議会を6月23日開催。阪和部では前期の第4回評議会と、今期第1回評議会が同日に開催され、同日引き継ぎ式、その後新旧合同の懇親会が天王寺の楓林閣にて開催されました。懇親会には新旧役員以外の参加もあり素晴らしい伝統だと思います。

正式に着任した7月以降より赤いブレザーを着用して活動致しました。

＜クラブ公式訪問及び具体的な活動＞

奈良(6/2)、和歌山(6/21)、泉北(6/26)、大阪サウス(7/3)、大阪長野(7/4)、大阪サザンスカイ(7/7)、和歌山紀の川(7/7)、大阪堺(7/12)、大阪河内(7/19)、田辺(7/23)の公式訪問を行う。

○EMC主査会、メネット主査会、地域奉仕・環境事業&メネット事業合同研修会、Yサ・ユース主査会に、担当主査を帯同し参加する。

○阪和部主査会を7月28日大阪南YMCAにて開催。

○同日、奈良クラブにて入会式があり、EMC主査と共に立会う。

○8月には多くのクラブで納涼例会が開かれ、大阪サウス、奈良、和歌山、大阪河内の例会に参加。

○8月4日、阪和部メネット会長が南YMCAで開催され、奈良クラブメネット会の指導で、次回西日本区大会用お土産をメン共々学習し作成。25名参加

○阪和部・EMCボーリング大会が、新大阪イーグルボウルにて、ワイズファミリー、YMCAリーダーも参加し開催。車椅子での参加もありましたが、補助器具の取り扱いにもっと習熟しておくべきだったと反省。

この大会の剰余金はメネット事業に献金した。

○タイ・バンコクで開催されたアジア大会に参加。

○9月～10月各地で開催された部会には、全て参加し、夫々の部の特色や、工夫を感じ取りました。



阪和部 EMC ボーリング大会

○鉄谷部・Yサ・ユース主査により、YYフォーラムが9月8日大阪南YMCAにて開催される。大阪Y、奈良Y、和歌山Yの各総主事に出席頂き、また阿南国際海洋センター40周年支援のため、阿南センターの橋本所長にも出席頂きセンターの現状について報告があり、その後大野事業主任と共に参加者全員で合唱しました。「YとYとのええかんけい」という鉄谷主査の主題どおりのフォーラムでした。



○10月7日阪和部会を、南YMCAにて開催する。

「共に楽しく」をテーマに全員参加の部会になるように企画しました。すべての事業主任の皆様に参加頂きメッセージを戴くことができました。理事をはじめ事業主任、阪和部の各メクラブメンバーに出演して頂き誠に感謝申し上げます。

○阪和部チャリティーゴルフコンペを10月23日高橋交流主査のお世話にて、法隆寺カントリーにて開催する。参加は23名で、ワイズメン以外の参加もあり、剰余金72,000円はメネット事業に献金されました。

○ 10月27日第2回主査会、評議会を南YMCAにて開催しました。



阪和部チャリティーゴルフコンペ大会

○ 阪和部合同メネット例会を、遠藤メネット主査により11月11日大阪南YMCAにて開催。

林事業主任、松田直前主任、田上次期主任に主席頂き、各クラブメネット会長報告の後、大阪長野クラブの植下会長による園芸と人間形成という講演をしていただき、園芸体験を全員でしました。また、ロシアのワイズウイメンのアザリアン・オルガさんからもメッセージをいただきました。参加者53名 席上献金42,423円はメネット事業に献金されました。



阪和部合同メネット会

○ 期初の公式訪問以外にも折を見て、多くのクラブを訪問させて頂いた。

後半期の予定

- 2月9日、第3回主査会、第3回評議会
- 2月24日 地域奉仕・環境事業フォーラム
- 4月19日 ウェルネス事業 熊野古道ウォーク
- 4月20日 障がい者テニス大会
- 4月26日 主査会



上半期中西部活動報告

Y's運動の源流を求めて! - Let's search for the origin of the Y's movement! -

中西部部長 ト田 啓三
(大阪豊中)

今期の部長主題に基づいて上半期の部の活動を下記の通りに開催しました。

1) 中西部会 「共に流そう汗と涙! ワイズとYMCA」 - Y's運動の源流を求めて! - の表題の下、「これからのワイズとYMCAのヒントを探る」ために、「ワイズはYMCAのために何ができるのか、YMCAはワイズに何を期待するのか」について3名のパネルディスカッションによる部会を開催しました。

日 時: 2007年9月29日(土) 14:00~17:30

場 所: 大阪YMCA会館 大ホール

参加者: 158名(特に大阪YMCA役員多数や大阪YMCAスタッフ多数の参加があった)

パネラー: 3名

- ・ 田上 正氏(熊本YMCA役員、熊本むさしクラブ)
- ・ 神田尚人氏(大阪土佐堀YMCA館長・大阪YMCA国際専 中西部・部会 第1部 部長挨拶 門学校校長、大阪セントラルクラブ)
- ・ ト田啓三(中西部部長、大阪YMCA常議員、YMCA理事、大阪豊中クラブ)



2) YYフォーラム&EMCシンポジウム

「YYの相互理解を深め、「中西部200」の達成を目指す」のテーマを掲げ、YYフォーラム&EMCシンポジウムを開催致しました。

日 時: 2007年10月27日(土) 14:00~17:00

場 所: 大阪YMCA会館 10階

参加者: 59名



全体会議



グループ討議



第3部 懇親会



グループ発表・講評

後半期の予定 (確定分)

1) 中西部合同新年会

日時：2008年1月14日(月) 12:00～14:30

場所：大阪南YMCA

2) YMCA 阿南国際海洋センター40周年記念募金の実施

YMCA 阿南国際海洋センター40周年を記念して阪和部と協働して募金活動を行う。目標金額 中西部100万円



六甲部上半期活動報告

六甲部部长 大塚 章信
(神戸)

「平和への祈り」を主題に掲げ、「会員を増やそう」を合言葉に、二つの看板を担いでクラブ訪問の6ヶ月でした。

5月26日キックオフ準備の役員研修会を開催致しました。会長・主査・役員が新年度に備えて夫々の方針・計画を立案され、25名が準備役員会に参加頂いた事に深く感銘を受けると共に感謝致しました。

ワイズメンズクラブのミッションは、YMCAへの忠誠心を持つメンバーの育成にあると考えます。即ち、



2007年7月11日宝塚クラブ入会式
(宝塚YMCA)

YMCAの良きパートナーとして、協働のプログラムを如何に支援してい

くかであります。準備役員研修会の時に、数多くの計画方針を会長主査に伝えました。

会長・主査の皆様が部長方針をどこまで理解し、どれだけ日常活動の中に取り組んで頂けるのか、正直なところ一抹の不安を持っていましたが、その不安は不要でした。

5月26日の準備役員会で、部長「公式訪問日」と、「新入会員入会式の立会」をお願い致しました。

早速、キックオフの7月11日、宝塚クラブ入会式と部長訪問の案内を頂き、12日神戸ポートクラブ公式訪問、18日芦屋クラブ公式訪問と入会式、19日学園都市クラブ公式訪問、20日西宮クラブ公式訪問と入会式等、順調にスタートが出来た事を感謝致しました。

今年、六甲部の青柳メネット主査は、7月24日今期第1回のメネット連絡会を開催してくださいました(続いて第2回11月15日。08年3月8日には六甲部合同メネット会が開催される予定です。

9月22日の第6回六甲部部会は、六甲山YMCAで開催され103名の参加を得て、「関西学院



2007年9月22日

OBクレセン 関学OBクレセントハーモニーのコーラス「トハーモニー」の心に残る演奏を楽しませて頂き、とても和やかな雰囲気の中で逞しい連帯感を痛感できました。

2000推進チームのピンバッジの売り上げも7万円以上の協力が出来て感謝でした。

今年も内外で大きな災害が発生いたしました、新潟県中越沖地震(募金額10万円)・バングラデシュサイクロ



2007年9月22日
第6回部会での新入会員紹介

ン支援募金活動にもYMCAと共同して募金活動を行いました。

11月3日はチャリティラン10周年記念大会が、神戸

の「しあわせの村」で開催されました。ワイズメンズクラブも、この日をワイズデーとして共に計画に参画しました。好天に恵まれ、1200名のランナー、運営ボランティア観客合わせて800名、合計2000名と大会史上最も賑



2007年11月28日
新潟中越沖地震街頭募金活動（神戸大丸前）

やかな大会となりました。このプログラムを通して、共生社会の創造の寄与できるよう更に努力していきたいものです。



瀬戸山陰部 前期活動報告

瀬戸山陰部部長 加藤 俊行
(米子)

「いつも変わらず、いつも前向き」と部長主題を掲げた活動方針と計画の下、各クラブ会長及び各事業主査の方針に導かれこれまで活動がなされてきた。

重点課題は「会員増強」「青少年の育成と協力」国際統一事業「Stop HIV / AIDS」、環境奉仕等の取り組みである。各クラブへの部長公式訪問をしたが、その地域性や、成り立ち伝統により、夫々の課題を取り上げ特色ある活動が進められていた。

また瀬戸山陰部としての特徴ある存在の「姫路-Y3」との交流・協力が大切になされてきた。

○第1回部評議会 7月21日 Hサンルート米子
部長・各主査及びクラブ会長の活動方針と計画を発表
「姫路-Y3」クラブも参加。 40名参加

○第5回瀬戸山陰部・部会及び米子クラブ設立10周年
記念例会開催：10月20日 Hサンルート米子

記念講演「DVシェルターの現場から」講師「DV被害者支援鳥取」代表 梅林智子さん。（この団体は米子クラブが長期に亘る支援をしている）昨今大きな社会問題となっているテーマだけに、参加者も興味深く強い関心を持って聞かれていた。

米子クラブ10周年の



歩みの中で特徴ある地域奉仕・環境事業である大山・中海浄化と環境への取り組みの紹介や発表が映像を交えなされた。特色ある活動報告は参考となり大いに意義があった。神谷西日本区理事、各事業主任始め多くの来賓と、「姫路-Y3」代表の出席とご挨拶に励まされた。

70名参加



Yサ・ユース事業

姫路の両クラブと鳥取・岡山クラブが活発に活動している。

地域奉仕・環境事業

研修会 8月25日 米子国際ファミリープラザ

EMC事業

シンポジウム： 8月19日 姫路セントラルビル

フレッシュマン・オリエンテーション： 10月20日

Hサンルート米子 三浦克文直前部長（岡山）等から適切なご指導を頂いた。

メネット事業

研修会： 8月25日 米子国際ファミリープラザ

メネットアワー： 10月20日 第5回瀬戸山陰部会に先立ち開催。

ワイズユースクラブ「姫路-Y3」

アジア・ユースコンボケーション参加報告書の発行

その他行事

○公開講座：11月10日 YMCA 米子医療福祉専門学校
演題：「メール相談から見えてくる若者の悩み」講師：
上村茂仁医師（岡山クラブ）

時宜に適した演題で約80名の若者が熱心に聞き、質疑応答でも活発に発言していました。地域奉仕・環境事業とメネット事業の共同の働きと、米子・岡山両クラブの交流事業として行われたこの講座は、地方新聞にも報道され、広報活動としても有意義であった。

○12月には各クラブでクリスマス行事及び年末行事や、募金活動などが盛んに行われた。

後期の予定

○西日本区次期会長・主査研修会 3月15～16日

○瀬戸山陰部YYフォーラム 4月29日 於姫路



西中国部前期活動報告 主題「手をつなごう！」

西中国部部长 小松 昌司
(広島)

新年度の立ち上がり早々中島部長が病気理由で辞意表明されたことで急遽私が部長に指名され就任することとなり、中島部長が掲げられた「手をつなごう」の主題は部員のみなさんには理解いただいていたことなのでそのまま継承しました。

課題は、“会員増強”。西日本区最小の部という厳しい状況となっていますので引き続いての目標です。各クラブにおいては、共に地道に地域に密着した親睦を含むボランティア活動及び交流会などを通じて「手をつなぎワイズの輪」を拡げ“会員増強”に結びつける活動を繋げましょう。



後期は1月新年合同例会、2月YYフォーラム、5月第5回評議会が開催されます。願いとしては、一先ず復活した呉クラブが一日も早く成長されることを心待ちしています。このために西中国部をはじめとして全てのワイズメンのみなさんにはご支援をいただくことをお願い申し上げます。

主な前期・部の活動

7月28日(土)第1回「西中国部評議会」(広島YMCA)を開催。中島部長の病気による辞意が報告され、後任部長選出について協議。

8月11日(土)第2回(臨時)評議会(広島YMCA)を開催。後任部長選出の件では西中国部書記小松メンを部長に、山野メンと藤川メンを書記に推薦する提案が承認された。次期部長は岩国クラブ赤坂会長から高瀬メンを部長に条件付で受ける表明があった。第6回西中国部会

開催作業が協議され具体化する。9月15日(土)第6回西中国部会開催(広島YMCA)。当日は部の心配をされ理事をはじめ多くの西日本区役員に参加を頂き思いもよらない盛会に終えた。参加者は西中国部から36名、西日本区から22名の計58名。

10月13日(土)東広島市で西中国部交流会を開催。会場暖流。東広島クラブのDBC東京サンライズ、広島・福山・岩国クラブから計18名が参加。後段で第3回西中国部(臨時)評議会をもち、鈴木誠也次々期理事からあった2010年西日本区大会広島開催(案)をホストする要請があったことについて協議され、受入れる方向で西中国部全体の協力・理解のテンションを上げるようお願いし賛同を得た。

11月23日(祝)第13回チャリティランを日本三景厳島(宮島)包ヶ浦で開催。広島湾を眺める潮風の匂いに癒さ



れて今年は出場50チームで大いに盛り上がりました。西中国部は今年も豚汁のサービスしとても美味しいと好評でした。

11月28日(水)HIV孤児施設タイ・バーンロムサイ支援活動「チャリティー・トークイベント」開催を広島YMCAと西中国部が主催。会場広島YMCA国際ホール。この活動は昨年引き続き東広島クラブを中心に行い今回は“バーンロムサイ”運営者名取美和さんと地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター所長岩室伸也先生を招いて対談を行いました。エイズへの関心を持ち、正しい知識を持つことを強調された。参加者約100名。

12月1日(土)「世界エイズデー」に合わせて開催された第21回日本エイズ学会市民公開講座「トークショー エイズデー」に協賛出展。会場紙屋町シャレオ。バーンロムサイの「UNDER THE TREE 展 in HIROSHIMA」をテーマにバーンロムサイの子供たちの作品を販売。またバーンロムサイビデオを放映。

後半期の予定

- 1月下旬西中国部新年合同例会(会場岩国予定)
- 5月第5回西中国部評議会(会場広島予定)
- 5月下旬大竹ゆうあい祭り支援



ハードな前期を振り返って

九州部部长 岩本 悟
(熊本むさし)

時期は定かでないが、私の部長としての仕事は菅正康ワイズの「次期部長の岩ちゃんに新クラブをプレゼントするよ」の一言で始まったような気がする。

2006年12月の「火の国フェスタ」から仕込みが始まり見事、昨年度末の6月30日に森本理事・神谷次期理事の



参加を得て設立総会を迎える事ができた。

7月1日ワイズ

にとっては正月早々に、会長・主査会、第1回評議会、EMCシンポジウムを開催した。シンポジウムでは、澤田EMC主任・井之上EMC直前主任にゲキを飛ばしてもらい「九州07・08 EMC期宣言-九州部300に向けて-」を採択した。

7月4日の博多オーシャンから部長公式訪問を始め、7月に11クラブのキックオフ例会に参加し、8月の長崎クラブまで、EMC宣言の励行や部長方針の周知徹底をお願いして廻った。

9月1日、西日本区の先陣を切って部会を開催した。特筆すべきは部会の中に阿蘇クラブの加盟認証状伝達式を盛り込んだ事である。今回の開催で一番苦労したのは、部会のホストはむさしクラブ、チャーターのスポンサーはひがしクラブ、一番の花形は阿蘇クラブと3クラブのコンビネーションであった。しかし部のキャビネットを筆頭に、むさし・ひがしの両クラブの温かい支えで、159名の参加を頂き「参加してよかった気配り、おもてなしに感動したよ！」の声をたくさん頂きました。感謝です。



伝達式では、梅井会長が「根ぞう阿蘇の地に、ワイズの精神」と主題を力強く宣言されました。また、同日開かれた評議会と並行して九州部メネットアワーが林メネット事業主任も参加されて開催された。

尚、この部会及び阿蘇クラブチャーター関係の記事は、昨秋発行された、直前期区報3号に詳しく掲載されていますのでご参照下さい。

9月13日熊本地区合同メネット会が、熊本7クラブ134名の参加で華々しくホテル日航熊本で開催された。

11月10日ワイズデーの一環で、2007スペシャル・オリンピック熊本地区大会の開会式と交流会を、熊本7クラブ 約30数名で支援した。



11月11日博多オーシャンクラブの20シユウネンガ、クルーザー「マリエラ号」で博多湾をクルージングしながら神谷理事始め区役員・九州部総勢約100名の参加で楽しく開催された。

11月22日(木)大分クラブ復活を願って例会をホテル清風で開催。参加者は大分クラブメンバー2人、熊本からメンバー3人、大分在住の見込みメンバー3人と8人で復活に繋がるような例会であった。

以上、前期の報告といたします。

西日本区活性化へ向け～理事懇談会

あなたはワイズを愛していますか？

日時:2007年7月15日(日)午後2時～4時30分

場所:ホテルクライトン新大阪

司会:高橋辰吉区報編集委員長

参加者:(元理事)2代伊藤圭介、3代灰谷隅夫、4・5代吉本貞一郎、6代臼井征郎、7代大野嘉宏、8代柴田善朗、9代佐野文彦、10代森本榮三(役員等)神谷尚孝(理事)、佐藤典子(次期理事)、澤田賢司(EMC主任)、守田富男(次期書記)、松岡義隆(2000推進チーム委員長)、井之上温代(LD委員長)、高橋辰吉(区報編集委員長)、三浦克文(同委員)

日本区が将来の発展を期して東西2区に分かれて10年が経過いたしました。その間、区・部・クラブとも目標を掲げ、努力されて来たにもかかわらず会員の減少が続いています。なぜでしょうか？

「今、なんとかしなければ」

区報編集委員会では予め出席予定者に西日本区発展を期したお考えをまとめて頂くようお願いし、資料として西日本区1期から10期までのクラブ会員数の推移(25ページ掲載)をお配りして懇談会へ臨みました。

最初に2010年横浜で開催される国際協会に関する問題を含む国際協会と西日本区の運営について質疑が行われ、ワイズ活動への理解のためにも情報公開を十分行うべきであるとの意見もありました。

次に澤田賢司EMC委員長より発言があり、話し合いが始まりました。

- ・会員数減少の問題点はどこにあるのか。
- ・歴代理事はワイズの理念を強くアピールしてきたのか。
- ・会員増強を含め、理事や主任・部長の引継ぎができていないのではないのか。



- ・弱いクラブを強いクラブが支援するシステムを理事が意識したか。
- ・2000チームは各クラブへ出向いて活動をし、汗をかいている。元理事も区発展のためリーダーシップを発揮し、働いて欲しい。

その後、松岡義隆委員長より2000推進チーム活動の説明があり、意見交換となりました。

理事として活動が十分でなかった点はあると思うが、理事だけでできるものではない。しかし、部長への指導を通して、もっと会員増強と意識高揚を図る事ができたのではないのか。

クラブ衰退の実例として「YMCA とクラブの関係」、「メンバー間の感情のもつれ」が上げられた。会員数の増減に地域（部）差があり、会費の問題でもなく、他の奉仕クラブが減少していてもクラブによっては増加している現状がある。

熱血漢のワイズが少なくなったし、時代の波もあるかもしれないが、経済環境の悪化とクラブの魅力の欠如が大きな要因かもしれない。

研 修

ワイズへの強い想いを持つ人を育てるといふ研修が必要ではないか。理事や部長・主任のリーダーとしての資質に課題があることも考えられる。クラブや部で十分に育てられることが重要であり、また、理事自らも学びを続けなければならないと思う。



成功事例の夢をいつまでも持ち続け、何を変えなきゃかわからなくなっているのではないか。

- ・「あってもなくてもよいクラブ」は消えていく。ワイズが存在するため、必要とされるためには、『こういうクラブであって欲しい!』と理事は主張すべきではなかったか。
- ・YMCA を通した奉仕だけでワイズメンズクラブは社会性を保てるか。不十分な理解でのYMCA やクリスチャニティーへの一辺倒では

存続していけないのではないか。

- ・クラブの魅力とは何か。メンバー間の思いやりが欠けていたり、ビジターに疎外感があつたりするのではないか。
- ・クラブをどのように変えていけば会員数が増えるのか。

元理事として自らのクラブだけでなく、部や西日本区で責任を果たすべきではないかとの意見が出たが、理事としては「やれることが限られている」とのジレンマがあり、2000 チームの意見には納得と反発もあった。人の成長や人間性が育つには長い時間が必要ではないか。

地域奉仕

クラブ衰退の一つの要因に、地域奉仕へのリーダーシップを持つ会員がいなくなったことがあげられる。やはり重要な要因は活動していること、そのようなクラブは特徴があるしメンバー数も維持、増加している所が多い。また、各クラブともチャーター時に加盟認証状伝達式文を承認し、モデル会則にのっとって活動を行っているので、単なる仲良しクラブ、ワイズの基本に反するようなクラブは許されない。それは、部長の指導力によるのではないか。

魅 力

ユース

次の世代、これからの青少年の育成にYEEP、STEPそして国際やアジアのユースコンボケーションを活用すべきで、大きなワイズの魅力ではないか。もちろんIBCやDBCの交流も魅力となる。

目標となるクラブ

強いクラブが無い部では、お互いに納得しあって切磋琢磨がないのではないか。総てのクラブが均等に減少すると、「なぜ、減ったのか」、「なぜ、クラブの差が生まれてくるのか」

との考えにも至らない。個々のクラブを強くし、魅力を維持するためにも部の再編が必要ではないか。

キーパーソン

「会員が減った時にクラブの中に危機感があるか。」クラブを維持したり、新しいクラブを作ったりする時にリーダーシップが必要である。懸命に働き努力する 2～3名のメンバーがいれば、その事は達成される。大切なことはこのようなメンバーを、総ての段階のリーダーシップトレーニングによって育てていくべきで、ワイズリーダーシップ開発委員会は重要である。メンバーにとって自己研鑽や自己成長は大きな魅力である。

親 睦

もっとも重要な要因は人間関係ではないか。クラブの衰退はYMCAのせいでも、経済のせいでもない。本来のワイズの持つ、ほのほのとした家族を含んだ付き合いがなくなっているのではないか。ここに「どういうクラブであるべきか」とのクラブ存在理由があると思う。友情はクラブの活性化に寄与する。他人の欠点に目をとられるのではなく、意見の違いはあっても、メンバーの良い部分を理解することが大切であり、そのことが社会や仕事で生きてくる。そう言った意味での親睦が、感謝の行動としての奉仕につながる。

以上の意見交換の中で、やはり言い尽くされてきたことも知れないが、真の意味の親睦から生まれる楽しい例会や奉仕が私たちの根源である。しかし、そのことを私たちが行えていないのも事実である。

「メンバーが安定しているクラブと減少していくクラブの違いは何か」、あらためて各クラブで検証して頂きたい。

元理事に対して、互いにもっと積極的に区の発展に寄与すべきと意見があり、役員や元役員

の中でも互いの長所を認め合い「こころ暖かな関係」を心がけるべきではないかとの苦言も述べられた。

理事をはじめとする役員は、ある意味、結果が問われているのではないか。自ら進んで会員増強に努力され、目標を達成するようにして頂きたい。新クラブを提言するような発言を期待していたとの意見もあった。

西日本区2000名達成に、あらためてリーダーシップ、特に部長の指導力がクラブだけでなく区の発展にも寄与することや、ワイズリーダーシップ開発委員会の重要性を確認した。同時に、部やクラブのレベルでの研修、さらにメンバー各々の学びと成長が必要である。

また、多くのワイズメンが意欲と危機感を持って、自らのクラブだけでなく、すべての私たちの活動を「ほのほのとした暖かいもの」とすることが課題ではないか。

以上のような意見交換が行われた。

区運営や2000名に向けて絞った意見集約が出来ず、また総花的になり、物足りなさが残ったことは否めません。お許しください。

西日本区始まって以来、初めて出席可能な元理事全員にご参加いただき、ご意見を頂きました。ありがとうございます。西日本区発展のヒントとなれば幸いです。

また、まとめにご協力頂きました吉本貞一郎元理事に感謝申し上げます。

(主催・文責 区報編集委員会)

西日本区7月1日付クラブ会員数

クラブ名\年	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	増減
金沢	11	11	12	13	12	10	8	9	9	10	-1
富山	16	13	12	10	7	1	1	2	2		-16
名古屋	37	36	39	39	38	35	31	32	30	32	-5
名古屋東海	22	21	22	21	22	18	19	18	17	17	-5
名古屋南山	23	19	20	18	15	14	13	14	11	9	-14
名古屋サウス	13	12	11								-13
名古屋プラザ	22	23	27	25	23	21	14	10	11	11	-11
四日市	20	19	18	20	20	22	23	21	21	18	-2
津	14	13	10	10	10	8	7	6	6	6	-8
名古屋グランパス	19	24	24	24	23	18	16	16	15	15	-4
金沢犀川	8	7	6	6	6	8	8	9	8	8	±0
金沢浅の川	18	16	16	15	15	13	13	11	11		-18
合計	223	214	217	201	191	168	153	148	141	126	-97
近江八幡	20	16	16	15	20	18	18	18	16	16	-4
彦根	25	21	21	21	19	20	20	20	17	15	-10
彦根シャトー	48	48	46	44	49	51	41	37	36	34	-14
長浜	38	38	37	33	34	39	33	33	39	37	-1
草津	29	27	23	18	23	27	23	18	16	16	-13
滋賀蒲生野	20	18	18	19	19	19	19	20	20	20	±0
大津					20	19	17	14	11	11	+11
合計	180	168	161	150	184	193	171	160	155	149	-31
京都	37	35	36	35	34	34	35	35	35	34	-3
福知山	8	8	9	10	8	10	11	11	9	9	+1
京都バレス	49	51	47	45	49	44	43	41	43	49	±0
京都ウエスト	29	26	25	26	23	25	25	26	27	27	-2
京都めいぶる	30	32	33	35	38	35	33	33	27	31	+1
京都キャピタル	38	37	36	32	35	33	35	29	28	28	-10
京都プリンス	36	35	33	37	37	32	31	30	22	23	-13
京都センチュリー	21	18	15	13	15	14	18	15	17	17	-4
京都ウイング	44	34	38	38	40	35	37	35	38	40	-4
京都洛中	32	33	34	30	24	22	26	23	21	20	-12
京都エイブル	40	41	39	36	36	30	29	23	23	19	-21
京都グローバル	36	32	31	29	39	43	52	50	52	51	+15
京都みやび	32	30	26	24	23	18	16	20	17	15	-17
京都さくら	18	18	17	19	16	13	7	11	11	10	-8
京都トップス	23	22	18	19	17	18	15	16	19	20	-3
京都トゥービー		36	35	33	33	31	32	32	30	29	+29
京都東稜								19	20	17	+17
京都ウエル									16	17	+17
合計	473	488	472	461	467	437	445	449	455	456	-17
田辺	5	5	6	7	9	8	8	8	7	6	+1
和歌山	26	26	22	20	20	20	20	20	22	16	-10
奈良	28	26	28	26	28	26	24	26	17	18	-10
大阪サウス	30	27	29	28	31	31	32	32	31	29	-1
大阪堺	9	7	7	5	10	8	9	9	6	7	-2
大阪河内	27	26	26	25	25	23	20	20	21	20	-7
大阪長野	19	19	17	19	23	20	18	18	12	12	-7
大阪泉北	14	13	15	17	18	18	15	15	16	19	+5
和歌山紀の川	26	23	22	24	23	27	24	24	22	25	-1
大阪サザンスカイ	18	14	12	11	9	9	9	9	9	7	-11
合計	202	186	184	182	196	190	179	181	163	159	-43

クラブ名\年	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	増減
大阪	38	31	32	30	28	26	24	24	25	26	-12
大阪土佐堀	33	30	23	22	21	19	21	23	23	21	-12
大阪豊中	13	11	12	15	15	15	13	12	14	14	+1
大阪千里	22	20	20	19	18	17	16	15	14	13	-9
大阪枚方	8	6	2								-8
大阪高槻	36	34	36	35	32	25	24	23	22	21	-15
大阪センテニアル	23	26	23	21	25	25	21	21	15	16	-7
大阪西	19	19	21	20	27	22	24	20	17	15	-4
大阪茨木	23	25	24	19	18	16	16	17	18	19	-4
大阪セントラル	19	17	20	18	18	16	13	12	12	10	-9
大阪なかのしま	28	25	25	25	26	26	25	23	22	23	-5
大阪ヴェクセル	22	22	16	16	13	12	11	11	11	11	-11
合計	284	266	254	240	241	219	208	201	193	189	-95
神戸	24	23	23	21	21	23	20	19	19	21	-3
西宮	33	27	27	24	20	21	21	22	20	21	-12
神戸西	20	17	16	17	19	16	15	15	15	13	-7
神戸ポート	24	21	23	19	16	15	13	11	14	15	-9
宝塚	27	27	22	21	20	21	23	22	19	20	-7
さんだ	30	28	26	25	26	22	21	21	21	20	-10
神戸学園都市	27	24	24	22	23	18	20	20	22	23	-4
芦屋		24	21	20	19	16	10	12	14	17	+17
合計	185	191	182	169	164	152	143	142	144	150	-35
姫路	15	16	18	17	17	16	14	13	13	14	-1
岡山	21	22	23	25	24	30	29	29	28	29	+8
鳥取	19	19	18	18	17	17	17	16	16	16	-3
高松	6	7	7	7							-6
高松さめき	10	10	10	10	13	11	13	13	15	15	+5
姫路グローバル	27	28	23	20	20	22	20	18	18	19	-8
米子		14	17	16	16	14	12	13	14	13	+13
合計	98	116	116	113	107	110	105	102	104	106	+8
広島	27	28	25	19	26	27	28	28	27	26	-1
福山	19	19	14	13	9	9	5	5	6	4	-15
呉	29	20	16	16	17	16	15	14	14		-29
東広島	20	21	16	12	12	14	12	13	12	11	-9
岩国				23	23	16	14	13	11	13	+13
合計	95	88	71	83	87	82	74	73	70	54	-41
長崎	13	13	13	12	11	10	10	8	8	9	-4
熊本	36	33	30	31	32	35	35	34	35	34	-2
北九州	11	13	14	17	12	13	13	15	16	15	+4
福岡中央	23	20	25	22	21	23	21	17	18	19	-4
熊本ジェーンズ	43	43	43	44	47	48	49	44	42	41	-2
博多オーシャン	38	37	34	29	31	30	29	24	20	18	-20
八代	14	12	11	11	11	10	9	11	11	12	-2
鹿児島	21	22	26	27	27	21	21	21	19	20	-1
大分	13	13	12	10	9	14	11	9	2	2	-11
熊本むさし		25	27	22	23	21	23	23	24	25	+25
熊本みなみ					22	22	21	21	18	18	+18
宮崎						24	24	23	25	25	+25
熊本ひがし							24	22	24	24	+24
合計	212	231	235	225	224	247	267	275	261	262	+43
総合計	1952	1948	1892	1824	1861	1798	1745	1731	1686	1651	-301

増減欄の合計数は97年度と06年度10年間の差です。

常置・特別委員会活動報告



ワイズリーダーシップ 開発委員会報告

ワイズリーダーシップ開発委員長
井之上 温代
(滋賀蒲生野)

ワイズリーダーシップ開発委員会（以下LD = Leadership Development）は、1月度の次期役員研修会と3月の次期会長・主査研修会の企画・運営を主なお役目としています。その4年のお役を全うされた岡本就介元委員長より引き継ぎましたが、改めて研修会・オリエンテーションの重要性・必要性を痛感しています。

1月12日・13日は、例年通り「Hクライトン・新大阪」で、3月15日・16日の研修は、安全面とアクセスの点から研修会場と宿泊が同一の「チサンH・新大阪」にて開催します。二つの研修とも原則として1泊2日で行います。貴重な時間と費用を要します研修ですので、前向きな気持ち・姿勢でご出席をお願い致します。

研修会を区や各部・各クラブのより良い運営のお役に立ち、また次期役員の方々が自信を持って活動して頂ける力を養うところと考えています。日頃出来ないメンバーとの時間に囚われないディスカッション・新しい友・親睦がご自身のパワーと成ることを確信し、ワイズに対する情熱を発散させる場にして下さい。ご協力のほど宜しくお願い致します。

LDの小委員会として「ワイズ必携編集委員会」がありますが、現在、東日本区と連携して改訂版発行のための原稿の収集と編集の最中です。ワイズ活動に、また人生の教本としていつも手元に置いていただけるものです。ご期待ください。

未来を見据えて「今出来ること」を着実に実行してこそ夢がかなえられるのではないのでしょうか。そこでワイズの未来を担うホープを募集しています。ご推薦も大歓迎です。



続・聖書からの学び

クリスチャニティー特別委員会委員長
長井 潤
(名古屋)

明治時代になって、多くの外国からの文化が日本に入ってきたとき、それまでの日本語にはない単語を、私たちの先達が新しい日本語として創作されたことは、折に触れご紹介しています。その中でも、特にワイズやYMCAメンバーである私たちにとって、大切と言うか自慢できる言葉に「青年」という言葉があり、これは熊本バンド出身で、日本のYMCAの創始者のお一人、後に同志社総長を経て東京霊南坂教会をつくられました、小崎弘道氏の創作であることは既知のことと存じます。

他に現在使われています医学用語の殆どは、ドイツ語の単語をもとに作られた言葉ですし、「情報」という単語は、恐らく福沢諭吉に依るものとされています。

同様に聖書を日本語に訳すときにも、多くの単語が創作されました。きっと意外に思われるでしょうが、その代表的なものに「天国（それまでは極楽）」や「愛する（この概念がなかった）」「洗礼」等があります。

また、聖書のなかの記述がそのまま私たちの日常に使われている例も多く見られます。例えば、小泉前首相が好んで使われました「三位一体」は、「父なる神・子なるキリスト・聖霊」という、キリスト教での最も大切な教義ですし、「目からウロコ」というのは、新約聖書の使徒言行録の中に記載されている出来事のことです。

これらは、そのごく一部の説明とご紹介で、他にも探せばいろいろあります。

以前の西日本区報で「西洋の文化におけるキリスト教の影響」ということを少し記載させていただきましたが、深さと広さは異なるものの、私たちの文化にも多少なりとキリスト教からの影響があることがおわかりいただけたでしょうか。まさか、これらの言葉を宗教的な反発を感じながら使われている方はおられないでしょう。

何度も何度も申し上げていますが、ワイズやYMCAにおけるキリスト教とは、宗教の「強要・押し付け」ではなく、一人の国際人、奉仕人としての「教養」なのです。

さらにその内容を深めたければ……是非積極的に「学び」の機会を作っていただきたいと願っています。



情報委員会からのお願い

情報委員長 初田 稔
(大阪河内)

第11期も6ヶ月が過ぎました。情報委員会も順調に活動しています。情報委員会はその性質上、表に出る機会は殆どありませんが、皆様方に少しでも西日本区の状況をきめ細かくお知らせしようと、情報委員のメンバーは全て裏方に徹して、地道に活動を行っている事を覚えておいて下されば幸いです。

最近有った事ですが、或るクラブの会員の方から情報委員長宛にお問い合わせがありました。お問い合わせに付いては、情報委員長の権限の範囲でお答えの出来る分は、当然お答えさせていただきます。

また、西日本区事務所には、事情を良く把握した事務員さんがおられます。きっと納得出来る返事が頂けると思いますのでお尋ねください。しかし、理事及び常任役員・各主任・各部長でなければお答えすることが出来ない事項については、各担当の皆様へ転送致しますので、必ず何らかの回答がされることと思います。

「ワイズニュース西日本区」もスタートの準備をしていますが、発信に必要なニュースがありません。各部や各クラブは夫々特色ある活動を展開しておられると思いますので、部長、クラブ会長や会員の皆様からの各部・各クラブの特色ある活動の報告を期待しております。但し、全てが掲載出来るとは限りませんので、部長、会長とご相談の上、常識ある判断で投稿して頂きますようお願い致します。



組織検討・安全対策委員会

組織検討・安全対策委員長 臼井 征郎
(長 浜)

組織検討・安全対策委員会は2004年度から新しく常置委員会としてスタートし役員会、常任役員会にて付託された案件について検討を重ね、役員会に議案として上程、多くの案件が承認されました。

昨期も「ワイズ必携編集特別委員会規則」、「ワイズ・ユースクラブ設立・運営に関するガイドライン」の改訂、「西日本区2000推進チーム」特別委員会規則等について役員

会や常任役員会からの付託を受け委員会で検討し、役員会で承認を受ける事が出来ました。

今期、第1回役員会において、理事提出第13号議案「特別会計より事業経費を支出する件」の承認された事により、当委員会へ関係する諸規定の修正を付託されました。この件に関し3回の委員会を開催し、委員会の結論として第2回役員会に報告書として提出しました。(報告書の内容は第2回役員会資料に掲載) その事により理事から「再審議」の議案が提出され、特別会計から事業経費を支出する項目からJWFを除く事で承認されました。今期は任期最後の年となり、当委員会への付託事項の検討はもとより、過去からの取り纏めを行い、次への引継がスムーズ行えるようにしていきたいと思えます。



前期を終え

理事事務局長 東 良學
(大阪サウス)

丁度半年が経過しました。理事通信(事業主任通信等を含む)の配信・配送も6ヶ月分を終わりました。現在西日本区88クラブ中78クラブにメール委員を指名して頂いております。一番新しい阿蘇クラブもメール委員を指名して頂きました。秋の各部の部会の時に、それぞれのクラブメール委員の方々にお会いし、問題点やご要望をお尋ねして廻りました。クラブ全員がメールアドレスをお持ちのところでは、従来は郵送されてきた資料をスキャナーで取り込んでからクラブの皆さんにメール配信をされていたので今回は大いに助かっていますとお話しも頂きました。また、70才を超えておられるクラブ会長がこの機会にとパソコンを始められて、9月の理事通信からメールで下さいとお申し出を受けたときには感激致しました。承ったことを反映しながら今後も努力して参ります。何卒宜しくお願い申し上げます。



ワイズメンズワールド(YMW)への投稿のお願い

YMW 翻訳・編集委員長 山川 一郎
(姫路グローバル)

ワイズメンズワールドは、世界のワイズメン、ワイズ以外の人々にとって、ためになる記事、啓発的な記事、読者の関心を誘う記事、読者を引き付ける記事と写真を

募集しております。

日本からの記事は、余り多くありません、しかし、世界中のワイズメンに知って頂きたい活動は、日本の沢山のクラブや部で行っておられます。日本のワイズここにあり、我がクラブここにありとアピールし、世界のワイズメンズ活動へ貢献して下さいませんか。

この記事や写真をお送りいただく際に下記についてご注意下されば幸いです。(この項は、国際編集長 Alan Wallington 氏の要望の抄訳です。) ご遠慮なく、当職までお送りいただければ、翻訳や下記についてのご相談はそこでさせていただきます。(ただし、YMW 掲載についての最終決定権は国際編集長が有しています。)

<写真についてのお願い>

○良い写真は記事の魅力を引き立てます。紙面に載せる写真をどうぞお寄せ下さい。

○但し、ポーズを取って、カメラを見ている沢山の人の写真よりも、活動自体の写真に、バナーや幟などワイ

ズのロゴが写っているもの、これが最高です。

○写真を文書の中に埋め込んだものは避けて下さい。写真と文章は別々に送って下さい。

○印刷には、解像度 300dpi (1 インチ当り 300 ドット) 以上の写真が必要です。

○デジカメで撮影される場合は、メールの際に圧縮せず、そのまま送って下さい。

○以上が不可能な場合は、エアーメールで、写真そのものを送って下さい。

<記事についてのお願い>

○記事は、600 字程度にして下さい (400 字詰め原稿用紙 1 枚半、1 行 40 字× 15 行程度)。

○ニュースやメッセージは、世界中の人が読めるように、明確なものにして下さい。

副編集者：山川一郎 〒670-0831 姫路市城見町 168

TEL/FAX: 079-288-7777

Mail Address: yamaqua@vesta.ocn.ne.jp

2007 ～ 2008 年度西日本区第 1 回役員会議事録

開催日 2007 年 7 月 14 日 (土) ～ 15 日 (日)

会 場 ホテル クライTON 新大阪

出席者<常任役員>

理事 神谷尚孝、直前理事 森本榮三、次期理事 佐藤典子、書記 望月 強、会計 金城清輝

<事業主任>

Yサ・ユース事業主任 大野 勉
地域奉仕・環境事業主任 岩間みどり
EMC 事業主任 澤田賢司
ファンド事業主任 前田文夫
交流事業主任 吉岡 毅
広報事業主任 守田富男
メネット事業主任 林 成子

<部長>

中部部長 三井秀和、びわこ部部长 戸所岩雄、
京都部部长 新山兼司、阪和部部长 遠藤通寛、
中西部部部长 卜田啓三、六甲部部长 大塚章信、
瀬戸山陰部部长 加藤俊行、西中国部部长 中島昌幸、
九州部部长 岩本 悟

<財政監事> 柴田善朗

<行政監事> 佐野文彦

<委員長>

JWF 管理委員長 正村公一
文献保存委員長・ヒストリアン 吉本貞一郎
ワイズリーダーシップ開発委員長 井之上温代
情報委員長 初田 稔
区報編集委員長 高橋辰吉
物品サービス委員長 鈴木良洋
組織検討・安全対策委員長 白井征郎
トラベルコーディネーター 鉄谷 明

<連絡主事> 山根一毅

<特別参加他>元アジア地域会長 長尾ひろみ、西日本区大会実行委員長 濱田 勉、京都部書記 乙坂優次

<理事事務局>

事務局長 東 良學
事務局員 三木 求、東 正美

<区事務所> 職員 北村久美子

定刻に開会

司会 書記 望月 強

記録・録音 事務局長 東 良學

開会宣言・点鐘 理事 神谷尚孝

ワイズソング斉唱 全員

開会の祈り 組織検討・安全対策委員長 白井征郎

理事所信表明と報告 理事 神谷尚孝

役員会を明るい雰囲気を進めたい。重点目標として会員増強、国際統一事業の推進、YMCA支援とユースの育成、理事方針を表明の後、指名委員会を発足（指名委員長：森本直前理事 指名委員：9部部長）。2010年国際大会の説明。阿蘇ワイズメンズクラブ設立総会報告。職員二人体制について説明された。

事業主任報告

Yサ・ユース事業主任報告 大野 勉 事業主任

7/1 事業主査・事業委員懇談会実施。各部Y・Yフォーラム、チャリティーラン開催予定等説明。ユースコンボケーションには自ら引率。

地域奉仕・環境事業主任報告 岩間みどり事業主任

「知っていますか？レッドリボン HIV/AIDS」のクリアファイルの活用については差当たり7月22日の地域奉仕・環境事業、メネット事業の合同研修会で参加者に配り、啓発をはかりたい。

EMC事業主任報告 澤田 賢司事業主任

別資料で2000推進チームの4ブロックに分けての活動計画やリーフレットの作成、EMC講師リスト、模擬例会の企画等具体的な計画報告。各部におけるEMCシンポジウム実施予定の確認。

ファンド事業主任報告 前田 文夫事業主任

「EF・JWFの葉」で特にJWFの認識を高めるよう努めたい。東日本区のパンフレットも参照。

交流事業主任報告 吉岡 毅 事業主任

IBC、DBC締結希望を持っているクラブの紹介。京都部、六甲部、九州部の数クラブが韓国、台湾、東南アジア、オーストラリア、デンマークを締結先として希望。

広報事業報告 守田 富男事業主任

広報事業として詳しいアンケートの実施をしたいので協力方要請。ワイズとYMCAのHPでのリンクを検討したい。第11回西日本区大会のプレスリリースについては「奈良放送」と「奈良新聞」とは充分できる（濱田実行委員長）。

メネット事業報告 林 成子 事業主任

活動の中に積極的にメネットを加えて頂く様お願いしたい。今回7月22日に地域奉仕・環境事業との合同研修会に踏み切ったのも出来るだけメネットがメンの事業と一緒に参加して行きたいとの思いからです。

議案協議

議長 理事 神谷尚孝
司会 書記 望月 強
録音記録 事務局長 東 良學

【第1号議案】 第2回準備役員会議事録承認の件

議案提案者 書記 望月 強
承認

【第2号議案】 07～08年度 予算修正の件

議案提案者 会計 金城 清輝

①円安の進行に伴うレートの変更②YEEP予算の追加
③EMC予算の増額④Yサ・ASF自由献金の次年度への繰越額を0とする⑤西日本区事務所パート職員1名採用見込みによる追加の内容説明の後、協議。各項目ごとに採決。

承認

【第3号議案】 YMCAサービス・ASF資金運用に関する理解について

議案提案者 ヒストリアン 吉本貞一郎

第2回準備役員会でYサ・ASF資金の理解について考え方の違いがあった。数年の資金の動きを表にまとめて理解を深める為の情報提供としての議案提出。Yサ・ASF自由献金が予定通り進めば、例年に比し100万円は事業費（区費より）の支出が削減される。

【第4号議案】 国際大会誘致に関して発生する費用負担について

議案提案者 ヒストリアン 吉本貞一郎

2010年国際大会は、予算算出段階で1500～2000万円の支出超過が見込まれ、第10回西日本区大会で既に不足分の負担について、東日本区サイドから折半が議決されているような発言があり、森本直前理事より発言者に対し抗議し、議決されているとの発言は撤回された。経緯を含めて部会や評議会で説明をしていく必要がある。

【第5号議案】 西日本区の財政状況について検討をすすめる件

議案提案者 ヒストリアン 吉本貞一郎

西日本区の財政はここ数年支出超過が続いている。抜本的な改革を求めたい。

1. 区費における事業費を削減するために特別会計を持つ地域奉仕やファンドにおいては主任主査活動費や印刷費を特別会計より支出する。
2. 各事業などで予算オーバーを無くし、予算統制を明確にする。
3. 区費の値上げを検討する。

4. 財務委員会や2000チームの活動を推進する。

継続審議

【第6号議案】 06・07年度年次代議員会での質問の取扱いについて。

議案提案者 ヒストリアン 吉本貞一郎

質問について十分な答えになっていなかったことがあれば役員会として真摯に対応すべきである。森本直前理事より質問の確認はほぼできたので対応を考えたい。国際大会誘致の件は西日本区大会終了後、全代議員対象に国際大会誘致問題のダイジェスト版を送った。

【第7号議案】 Yサ・ASF自由献金に愛称を付ける

議案提案者 理事 神谷 尚孝

YMCAとユースのために使用するファンドということで「YYファンド」という愛称を定めたい。 否決

【第8号議案】 ユース^{YY}コイン運動の継続について

議案提案者 Yサ・ユース事業主任 大野 勉

ユース^{YY}コイン運動を今期も継続する。ユースコンボケーション参加者への支援金として限定して献金を呼びかける。 承認

【第9号議案】 国際憲法とガイドライン（訳文）のミスプリント（誤訳）を修正する件

議案提案者 組織検討・安全対策委員長 白井 征郎
国際憲法第2条第3項C

原文 市民的、国際的諸問題のただ中で、倦むことなく、一党一派に偏しない正義を追及する。訂正：追求する。

承認

【第10号議案】 第4回役員会の開催時間変更の件

議案提案者 西日本区大会実行委員長 濱田 勉

第11回西日本区大会前日の第4回役員会の時間19時～21時を2008年6月13日（金）17:30～19:00に変更し、前夜祭を19:15～とする。 承認

【第11号議案】 留学生ホームステイホストファミリー補助金について

議案提案者 交流事業主任 吉岡 毅

STEP留学生のホームステイホストファミリーについて、滞在が1泊～1週間でも同額の¥10,000を1泊につき¥3,000の補助金にする。 承認

【第12号議案】 聖日礼拝の献金先について

議案提案者 書記 望月 強

「Yサ・ASF自由献金」にしたい。 承認

【第13号議案】 特別会計より事業経費を支出する件

議案提案者 理事 神谷 尚孝

第5号議案の中で協議された事項で区費における事業

費を削減するために、特別会計を持つCS活動支援金・FF献金・JWF基金については、それぞれの事業活動経費は、その特別会計より支出することとする提案を説明。関係する諸規定の修正を組織検討・安全対策委員会 白井委員長に付託する。 承認

第11回西日本区大会について

大会実行委員長 濱田 勉

登録費について大会と懇親会とを分けた。新入会員について1,000円の優遇を措置した。懇親会は会場の問題から500名が先ず第一段階のリミットであるが別室、ロビーも使えば、最大は750名。

【常置委員会・特別委員会・専任委員報告】

トラベルコーディネーター 鉄谷 明

来年6月10日～18日 BFデリゲーションへの協力依頼があった。

JWF管理委員会 正村 公一委員長

区の発展につながる用途ならば十分に協議して支出することにやぶさかでない。

ワイズリーダーシップ開発委員会 井之上温代委員長

次期役員研修会 1月12日～13日 ホテルクライトン 新大阪

次期会長・主査研修会 3月15日～16日 チサンホテル 新大阪

組織検討・安全対策委員会 白井 征郎委員長

2007～2008西日本区諸委員会構成表では名前・所属などのミスプリが多い。正確に記載して下さい。

ヒストリアン・文献保存委員会 吉本 貞一郎委員長

将来にわたって保存すべき資料を検索するのに区報が最も重要であるので、そのつもりで執筆するようにお願いしたい。

区報編集委員会 高橋 辰吉委員長

区報は年3回の発行を考えている。元理事の方々と交えての座談会を企画している。

情報委員会 初田 稔委員長

委員として荒川直前広報事業主任に加わって頂いた。

物品サービス委員会 鈴木 良洋委員長

ワイズマークの入ったポロシャツの販売を各部各クラブのご協力を頂いて進めている。

【部長報告】

中部部長報告 三井 秀和中部部長

積極的且つ具体的な会員増強に向けて、クラブ間の合同例会等も計画しゲストに対し楽しいクラブライフをアピールするように進めていきたい。

びわこ部部長報告 戸所 岩雄びわこ部部長

YMCAとの協働を図る中で特に「風の谷キャンプ場」の運営に部あげて支援したい。4月に長浜で市民を巻き込んだインターナショナルフェスタが地元にも大きな反響があったが、部会でも市民を巻き込んだ催しになるよう考えたい。

京都部部長報告 新山 兼司京都部部長

今期は周年記念のクラブが8クラブもあり、活気溢れる1年にしたい。京都部555名を目指し、EMC研修会等検討中です。9月9日の京都部会で大きなうねりを作るべく皆さんも参加願いたい。

阪和部部長報告 遠藤 通寛阪和部部長

8月25日にEMC目的のボーリング大会を新大阪で実施。YYフォーラムを9月8日に大阪南YMCAで開催します。

中西部部長報告 卜田 啓三中西部部長

大阪YMCAの125周年記念事業が各地域YMCAのプログラムでスタートしているが、連携を密にして協働をはかりたい。阿南海洋センター40周年に際し、阪和部と協働で阿南の充実の為に募金活動を行いたい。

六甲部部長報告 大塚 章信六甲部部長

六甲部は今期4クラブが周年記念例会を計画。それらに先立ち9月部会を六甲山YMCAでベタンク大会や美しいコーラスのハーモニーで一気に一体感を盛り上げて行きたい。

瀬戸山陰部部長報告 加藤 俊行瀬戸山陰部部長

課題は会員増強を如何に果たして行くかということに尽きる。事業主任のお力もお借りして、瀬戸山陰部6クラブが力を合わせていきたい。ワイズ・ユースクラブ姫路Y3が存在していることから、ユースの立場を理解してお互いの発展に努めようとしている。

西中国部部長報告 中島 昌幸西中国部部長

トータルで56名の小さな部であるが、本音で話して、衆知を集めるを合言葉に地道な努力を積み重ねていきたい。

九州部部長報告 岩本 悟九州部部長

九州区へのはじまり！！500名体制をめざして！を主題に積極的な活動を展開したい。9月1日の部会は阿蘇クラブのチャーターナイトも併せて実施します。

アジア・国際ワイズダムの動き：長尾ひろみ元アジア地域会長

資料を元に最新の国際・アジアの動きについてご説明を頂きました。

日本YMCA同盟報告：山根 一毅YMCA連絡主事

YMCA同盟の活動内容、ワイズとの関わりと期待などを資料を基に説明。

書記・会計・事務局報告

理事通信の発信と同時に事業主任通信も送りますので25日期限内で提出をお願いします。

西日本区事務所報告

半年報の提出が未だの部があるので早急に提出してください。

監事講評

佐野文彦行政監事

今回は、初めての役員会とあって多くの重要な議案が提出されました。役員の皆様方が活発に協議に参加され、意見交換をなされたことを感謝。議事の進行については若干問題点があり、ロバート議事法を研究されることを期待します。本日は部長さん、主任さんとも多くの宿題が出されております。今一度「何が問題だったのか」自分の役割を思い起こして、問題点を整理・復習することを忘れないでいただきたい。

柴田善朗財政監事

理事キャビネットの準備不足であった面がある。事前の資料は矢張り印刷物で配布して、役員の方々に良く読んで頂いておく必要がある。

YMCAの歌	全員
閉会の祈り	六甲部部長 大塚 章信
閉会点鐘	理事 神谷 尚孝

2007～2008年度西日本区第2回役員会議事録

開催日 2007年11月17日(土)～18日(日)

定刻に開会

会場 ホテルクライトン新大阪

司会 書記 望月 強

出席者

録音・記録 事務局長 東 良學

<常任役員>

理事 神谷尚孝、直前理事 森本榮三、次期理事
佐藤典子、書記 望月 強、会計 金城清輝

- 1、開会宣言・点鐘 理事 神谷尚孝
- 2、ワイズソング斉唱 全 員
- 3、開会の祈り 中西部部長 ト田啓三
- 4、理事挨拶と報告 理事 神谷尚孝

<事業主任>

Y・サ・ユース事業主任 大野 勉
地域奉仕・環境事業主任 岩間みどり
EMC事業主任 澤田賢司
ファンド事業主任 前田文夫
交流事業主任 吉岡 毅
広報事業主任 守田富男
メネット事業主任 林 成子

中島正幸ワイズの後任として西中国部部长に就任された小松邑司ワイズの紹介があり、その後小松部長からご挨拶を頂いた。

理事報告 理事 神谷尚孝

1. 阿蘇クラブ認証状伝達式、2. 各部部会。3. 新潟県中越沖地震災害緊急募金。4. アジア地域大会とユースコンボケーション。5. 広義会員承認(18クラブ、35名)
6. 国際投票規定除外申請(31クラブ中29クラブ) 7. BF代表応募(パシヤル1名) 8. 為替ヘッジの件。

<部長>

中部部長 三井秀和、びわこ部部长 戸所岩雄、
京都部部长 新山兼司、阪和部部长 遠藤通寛、
中西部部長 ト田啓三、六甲部部长 大塚章信、
瀬戸山陰部部长 加藤俊之、西中国部部长 小松邑司、
九州部部长 岩本 悟

事業活動報告

Yサ・ユース事業主任報告 大野 勉 事業主任

ユースワンコイン運動に4クラブからご協力頂いています。来年のユースコンボケーションこれからアピールしていく。タイのユースコンボケーション報告書が完成し、役員の皆様に配布した。

<財政監事>柴田善朗

<行政監事>佐野文彦

<各委員長>

JWF 管理委員長 正村公一
文献保存委員長・ヒストリアン 吉本貞一郎
ワイズリーダーシップ開発委員長 井之上温代
情報委員長 初田 稔
区報編集委員長 高橋辰吉
物品サービス委員長 鈴木良洋
組織検討・安全対策委員長 臼井征郎

地域奉仕・環境事業主任報告 岩間みどり 事業主任

1. 地域奉仕・環境事業、メネット事業合同研修会報告(7月22日)
2. CS資金申請審議では京都キャピタル、名古屋南山の2件に援助決定。申請は早期提出をお願いします。
3. CS資金ノベルティグッズ「クリアファイル」累計5,400枚配布(西日本区全員を含む)

<連絡主事>山根一毅

<特別参加他>2000推進チーム委員長 松岡義隆、

西日本区大会実行委員長 濱田 勉、
次期会計 小堀鈴代、次々期理事 鈴木誠也

EMC事業主任報告 澤田 賢司 事業主任

各部EMCシンポジウムを始め各クラブへの訪問を含めて40ヶ所を回り、会員の減少に至る要因があるが、2000推進チームと共に先ず1,800名達成を前面に出してハッパを掛けさせて頂いた。反発も一部あったが起爆剤になればと思っている。(詳細報告書参照)

<理事事務局>

事務局長 東 良學
事務局員 吉田絹恵、東 正美

2000推進チーム報告 松岡 義隆 委員長

<区事務所>

職員 北村久美子

ピンズバッジ協賛のお礼と報告。9部部会で886,379円、その他を含め約97万円、有効に活用していきたい。現在模擬例会のDVD作成に掛かっている。

ファンド事業主任報告 前田 文夫事業主任

JWF&EFの認識を高めるよう引き続き努めたい。BFデリゲートに漸くパーシャルグラントに応募があった。

交流事業主任報告 吉岡 毅 事業主任

STEP受入れ事業について、しっかりと目的などを持ち、単に観光旅行に終わらないようにしなければならない。以前のマニュアルも掘り起こして検討したい。IBC・DBCについての最近の具体的な事例の報告。

広報事業報告 守田 富男事業主任

ワイズデーに間に合うようにプレスリリースのフォーマットを作成し配りました。HPについては中西部の開設と九州部では博多オーシャン、鹿児島、宮崎がブログによる立ち上げを行った。クラブパンフレットについては各部主査を通じて主任の方へ送って頂きたい。

メネット事業報告 林 成子 事業主任

各部部会でメネットアワーを開催して頂いた部が7つ、部メネット会をもって頂く部が2つ。各部のご協力に感謝。嬉しいニュースとして宮崎クラブと芦屋クラブにメネット会が設立されました。西日本区88クラブ中メネット会が設立されているのは36クラブです。今後もメンの活動に参加頂くことをお願いします。

議案協議

議長 理事 神谷尚孝
司会 書記 望月 強

【第1号議案】 第1回役員会議事録承認の件

議案提案者 書記 望月 強
承認

【第2号議案】 10周年記念第10回西日本区大会収支報告並びに剰余金処分の件

議案提案者 直前理事 森本 榮三
内訳 JWFへ200,000円 大阪YMCAへ81,438円
合計281,438円 承認

【第3号議案】 2010年横浜国際大会準備委員会委員増員

議案提案者 理事 神谷 尚孝
西日本区より吉本貞一郎(副委員長)・森本榮三・神谷尚孝の3名が前年度より当っているが、新たに佐藤典子次期理事・鈴木誠也次々期理事の2名を増員する。

関連議案【第13号議案】 承認

【第4号議案】 2010年国際大会(横浜大会)への支援について

議案提案者 2010年国際大会準備委員 吉本貞一郎、

森本 榮三、神谷 尚孝

国際議会07にて2010年国際大会の開催が、東日本区横浜で開催されることが決議された。西日本区としての支援を決議し、その成功に協力するため①750万円を支援する②実行委員など人的な支援を行う③登録の推進、企業協賛などについて協力する。非常に熱心に活発な論議が行われ、750万円の捻出は常任役員会でJWFも含めて具体的な捻出方法を検討し、第3回の役員会に提出することが動議として提出された。750万円は継続審議。

その他承認

【第5号議案】 2010年国際大会開催に関する覚え書き

議案提案者 理事 神谷 尚孝
両区の協力に関する覚え書きを理事署名で交わす内容提案。

提案内容

2010年横浜国際大会に関する覚書

ワイズメンズクラブ国際協会東日本区と西日本区(以下、両区と略す)は、2010年横浜国際大会開催に関し、大会の成功および大会開催を契機とした日本におけるワイズダムの発展を目的とし、以下の覚書を交換する。

1. 2010年横浜国際大会開催は、東日本区がホスト(スポンサー)を、西日本区がサブホスト(サブスポンサー)を務める。両区は大会成功に向け一丸となって最大限の努力をする。
2. 2010年横浜国際大会開催に際して、「国際大会誘致調査委員」が作成した(5)収支予算に基づき、その支出超過額を折半して負担する。ただし、西日本区の負担額は750万円を超えないこととする。
3. なお、2010年横浜国際大会の成功のため、両区役員会は相互への敬意と誠意を持って努力する。

承認。

【第6号議案】 2008年アジア年央会議(MYC)の歓迎夕食会費用分担の件

議案提案者 理事 神谷 尚孝
東西両区で分担し、西日本区分7万円を理事特別費から支出。 承認

【第7号議案】 西日本区費の改定について

議案提案者 次期理事 佐藤 典子
西日本区費、現行14,000円を15,000円に改定する。その審議を各部で行い、第3回役員会で承認を得、次年度より実行したい。国際会費の値上げを含む提案理由が説明され、質疑の後採決。

承認

【第8号議案】 名誉理事を推薦する手続きを開始する件

議案提案者 EMC事業主任 澤田 賢司

名誉理事を推薦することの必要性、推薦する場合の選出方法などを検討するために、「(仮称) 名誉理事推薦委員会」の立ち上げと、委員長並びに委員の人選は理事に一任する。 承認

【第9号議案】 国境なき奉仕 パーンロムサイ・支援活動のお願い

議案提案者 西中国部部长 小松 邑司

地域奉仕事業委員会にて審議する内容である。

取下げ

【第10号議案】 2008年国際大会参加の旅行企画を行うエージェント決定の件

議案提案者 理事 神谷 尚孝

登録代行と旅行企画を理事通信で募集の結果、応募のあった亜細亜交流旅行に指名する。 承認

【第11号議案】 聖日礼拝の献金先について

議案提案者 書記 望月 強

メネット国内プロジェクト支援先 WYSHにメネット委員会を通じて献金する。 承認

【第12号議案】 第1回役員会で議決された第13号議案「特別会計より事業経費を支払する件」の内JWF基金の語句を削除する件

議案提案者 JWF管理委員長 正村 公一

第14号議案で組織検討・安全対策委員会の報告書に基づく再審議を行うことを先行し、JWF基金の語句を削除することになったので審議しない。 承認

【第13号議案】 2010年横浜国際大会準備会委員増員

議案提案者 EMC事業主任 澤田 賢司

3人の理事経験者 森田恵三様、柴田善朗様、佐野文彦様を増員する 承認

【第14号議案】 組織検討・安全対策委員会の報告書に基づく再審議

議案提案者 理事 神谷 尚孝

JWFは基金の性格から判断して経費支出の計上はなじまない。「第1回役員会で議決された第13号議案の内JWF基金の語句を外す動議」 承認

【第15号議案】 2010年国際大会開催のための支援金の支出

議案提案者 理事 神谷 尚孝

西日本区より750万円を限度とする支援金の内、取り

敢えず250万円を今期一般会計より仮支出する。250万円の支出を第3回役員会で協議する。 継続審議

常置委員会・特別委員会・専任委員報告

JWF管理委員会 委員長 正村 公一

今期JWFは現在49万円ですが執行部の一部の方で役員の方からはまだありません。JWFの奉仕帳について2001年から精査されていないが、出来る目処がついた。役員の皆様は如何に貴重なものか認識して頂きたい。

ヒストリアン・文献保存委員会 委員長 吉本貞一郎

特になし。

ワイズリーダーシップ開発委員会 委員長 井之上温代

チサンホテル新大阪において現・次期キャビネットも加わってLD委員会を実施。次期役員研修会 1月12日～13日 ホテルクライトン新大阪、次期会長・主査研修会 3月15日～16日 チサンホテル新大阪

組織検討・安全対策委員会 委員長 臼井 征郎

第1回役員会で議決された第13号議案の議決に伴う関連運用施行細則改訂案策定について議決内容の問題点を提起。本件は第2回役員会資料に詳しく記載されており、第14号議案として別途提出されたのでここでは詳細を省略する。

区報編集委員会 委員長 高橋 辰吉

来年2月発行予定の区報の原稿を依頼している。締切りは12月20日である。第1号では写真が少なかった。部長、事業主任は最低でも2枚は入れて欲しい。

情報委員会 委員長 初田 稔

事業主任の方からはHPにアップして頂いているけれども部長さんからは全然ない。部のHPもあるが全国的に流したいニュースがあれば是非頂きたい。

物品サービス委員会 委員長 鈴木 良洋

物品販売、区大会も含めて売上げ528,400円、原価と各部への還元金を差し引いて162,290円の収益金を通常会計へ入れさせていただきます。

第11回西日本区大会について：大会実行委員長 濱田 勉

現状報告と大会への積極的な参加要請。大会の知らせを12月理事通信と共にクラブ会長に送る。

1. 来年1月半ば以降に大会のご案内を各個人宛てお送りする。

2. 大会の申込みは案内状で進めるが、今回はインターネットでの対応も考えている。

3. 新入会員とIBCのメンバーについて優遇措置を実施する。

4. 大会登録と懇親会を分けて登録できるようにしてい

るので、大会だけでもより多くの方の参加をお願いしたい。また今回連絡主事の集いも併せて実施します。

第2日目の朝、藤井寛敏国際大会誘致準備委員会委員長（アジア地域会長）がお見えになり、国際大会誘致についての西日本区の物心両面に亘る協力に対する謝意と京都の大会から22年を経てこれを進めることになった経緯を述べられた。

部長報告

中部部長報告 三井 秀和中部部長

2000推進チームのご協力も得て会員増強に向けて動き出している。富山クラブは持続に努力してきたが、今期、国際へも消滅の手続きを取った。

びわこ部部長報告 戸所 岩雄びわこ部部長

部会の時に実施した「瀬戸内寂聴さんのお話を聴く会」は1,800名の一般市民を交えての集会となった。滋賀彦根新聞に掲載。全員に「クリアファイル」を渡し、じゃがいも購入のチラシにもびっくりするほどの協力が得られた。

京都部部長報告 新山 兼司京都部部長

今期は京都クラブの60周年を皮切りに、周年記念のクラブが8クラブもあり、活気を部に溢れるようにしたい。特記事項として京都さくらクラブの再編についての経過と今後の予定を説明。

阪和部部長報告 遠藤 通寛阪和部部長

明るく楽しい雰囲気の中で活動している状況を報告。特にメネット事業主任を出している部としてメネット事業への献金を重点的に指向。

中西部部長報告 卜田 啓三中西部部長

中西部部会での「ワイズとYMCA」をテーマとしたパネルディスカッション及び10月27日のYYフォーラム・EMCシンポジウムでYYの相互理解を深め、中西部200を目指している。

六甲部部長報告 大塚 章信六甲部部長

今期特にEMC事業活動に注力しており、結果としても5名の新入会員が獲得できた。メネット事業の支援にも力を入れて連絡会議を立ち上げた。ワイズデーを11月3日に設定しチャリティランを行った。

瀬戸山陰部部長報告 加藤 俊之瀬戸山陰部部長

瀬戸山陰部の特徴を考えると6クラブに加えてワイズ・ユースクラブ姫路Y3が存在していることであり、部会にも参加してもらった。また地域奉仕に環境が加わったという新たな視点でこの事業を考えていきたい。

西中国部部長報告 小松 邑司西中国部部長

56名の小さな部であり会員増強が大きな課題であるが、

現在呉クラブの再生に力を入れている。元呉クラブの方がYMCA同好会を作って活動されており部の行事にも参加していただける雰囲気であり、これを大切にしながら粘り強く再生に持っていきたい。

九州部部長報告 岩本 悟九州部部長

九州部EMC宣言で今期300名必達を謳っているが、期初262名が阿蘇クラブの誕生もあって現在287名、更に3名の入会予定もあり、あと10名となっている。熊本地区でYMCAとワイズの懇談会を3ヶ月毎に開催している。更に熊本7クラブで熊本連絡協議会を2ヶ月毎に開催し活性化に貢献している。大分クラブの復活を願って大分を訪問する予定である。

日本YMCA同盟報告 山根 一毅YMCA連絡主事

資料により報告。資料外で2005年のジョクジャカルタでの大地震の救援活動に、今年9月現地に引率者として行った。ユースの活動を中心にDVDにまとめたので研修会で使わせて頂く予定で、各YMCAにも送っている。

書記・会計・事務局報告

12月の国際会長・国際議員の選挙についてのお願ひ。西日本区の投票権はグッドスタンディングクラブと申請を行ったクラブ併せて83クラブの会長が持っている。棄権の無い様にご助言をお願いします。

西日本区事務所報告

大阪西クラブよりワイズメンズクラブの幟を70本寄贈されているので西日本区大会等にご活用下さい。会長・主査研修会で欠席された会長さんに届出等にミスが多い。是非研修会には出席して頂くよう啓発をお願いします。

聖日礼拝献金贈呈

神谷理事より林メネット事業主任に献金36,000円が贈呈された。

監事講評

行政監事 佐野 文彦

熱心な討議に感謝。部長・主任は一年の任期で役目を果たしている。今までのワイズ運動の歴史を知る意味で議案書も区報も良く読んで勉強しないと判断しかねることがある。理事キャビネットの皆さんは議案書を作る時にはシミュレーションをしてコミュニケーションをよく図って頂きたい。役員皆さんには次期役員研修会があり、ワイズ運動の永続性という意味から指導しなければならない立場で充分留意して下さい。

財政監事 柴田 善朗

今回は部長の発言が多かったが部長は部の代表であり、西日本区のために、部の皆さんのためにという視点で今後も積極的に発言して欲しい。執行部の皆さんはまだシミュレーションが不足である。議事運営の上で起承転結を明確にすることにも努力して欲しい。役員会・常任役員会は西日本区の重要事項について審議し決議する場なので、重要事項でないものは議案に挙げる必要はないのでこれも留意して欲しい。判らない時には理事経験者もいるので聞いて欲しい。更に大事なことは重要問題が含まれているときにはメール・電話もよし、しかし書いた

もので事前によく読んで来て頂くようにすることが肝要であるということを再認識して欲しい。

YMCAの歌	全 員
閉会の祈り	広報事業主任 守田 富男
閉会点鐘	理事 神谷 尚孝



2007～2008年度役員の皆様

編集後記

本号は今期前半の常任役員、事業主任、部長及び一部委員長さんの活動報告を掲載しております。特別企画 10 周年特集 西日本区活性化へ向け～元理事懇談会 の記事は如何でしたでしょうか。西日本区発足後 10 年を経過した現在、毎期メンバーを減少させてきた事態を打破すべく、前期後半 EMC 事業委員会傘下の特別委員会として位置付けられた「西日本区 2000 推進チーム」が立ち上げられました。

区が一つとなり活性化・2000 名達成に向けて力強く前進できるよう、現 EMC 事業主任、2000 推進チーム委員長、LD 委員長の熱意を西日本区歴代の元理事さん達お伝えし、ご意見や、理事在任時のメンバー増強策などを伺いたく企画しました。

熱心な話し合いが行われましたが当委員会の力不足により、一部空回りするご発言もあり、相互に満足する結果が得られなかった事は残念ですが、これを機に区が前進するよう念願しております。

今後も出来るだけ、時宜を得たテーマによる、特別企画の記事を掲載したいと思います。ご意見をお寄せ頂ければ幸甚に存じます。

【区報編集委員会】

委員長 高橋 辰吉 (彦 根)	委 員 望月 強 (大阪河内)
委 員 金城 清輝 (和歌山紀の川)	委 員 三浦 克文 (岡 山)
委 員 蔵知 武 (岡 山)	委 員 東 良學 (大阪サウス)

西日本区現勢

2008年1月1日現在

部	クラブ名	2008.1.1	2007.7.1	2007.1.1	増減
中部	金沢	11	9	10	2
	名古屋	29	29	30	0
	名古屋東海	22	21	20	1
	富山	-	-	-	-
	名古屋南山	10	10	11	0
	四日市	26	24	21	2
	名古屋プラザ	12	13	12	-1
	名古屋グランパス	14	14	15	0
	津	4	5	6	-1
金沢犀川	7	7	7	0	
小計	10	135	132	126	3
びわこ部	近江八幡	18	17	17	1
	彦根	13	14	15	-1
	彦根シャトー	33	35	34	-2
	長浜	44	39	38	5
	草津	14	15	16	-1
	滋賀蒲生野	22	21	21	1
大津	11	11	12	0	
小計	7	155	152	153	3
京都部	京都	34	33	34	1
	福知山	9	9	9	0
	京都パレス	50	45	45	5
	京都ウエスト	25	23	25	2
	京都めいぶる	33	31	31	2
	京都キャピタル	30	28	30	2
	京都プリンス	22	21	21	1
	京都センチュリー	17	17	17	0
	京都ウイング	41	42	42	-1
	京都洛中	18	19	20	-1
	京都エイブル	18	18	17	0
	京都グローバル	54	51	51	3
	京都みやび	15	15	15	0
	京都さくら	6	10	10	-4
	京都トップス	24	20	20	4
	京都トゥービー	31	30	30	1
	京都東稜	16	16	17	0
	京都ウエル	13	15	18	-2
小計	18	456	443	454	13
阪和部	田辺	7	7	7	0
	和歌山	16	13	13	3
	奈良	21	18	18	3
	大阪サウス	30	30	30	0
	大阪堺	8	7	8	1
	大阪河内	21	20	23	1
	大阪長野	12	12	13	0
	大阪泉北	18	19	19	-1
	和歌山紀の川	23	23	24	0
	大阪サザンスカイ	8	8	8	0
小計	10	164	157	163	7

部	クラブ名	2008.1.1	2007.7.1	2007.1.1	増減
中西部	大阪	23	22	27	1
	大阪土佐堀	18	18	20	0
	大阪豊中	12	12	13	0
	大阪千里	9	10	11	-1
	大阪高槻	23	21	20	2
	大阪センテニアル	17	17	17	0
	大阪西	15	15	16	0
	大阪茨木	17	18	18	-1
	大阪セントラル	10	10	10	0
	大阪なかのしま	23	23	23	0
	大阪ヴェクセル	11	11	11	0
小計	11	178	177	186	1
六甲部	神戸戸	22	22	22	0
	西宮	23	22	22	1
	神戸西	13	13	13	0
	神戸ポート	15	14	14	1
	宝塚	21	20	20	1
	さんだ	19	19	20	0
	神戸学園都市	23	23	23	0
	芦屋	21	20	19	1
小計	8	157	153	153	4
瀬戸山陰部	姫路	15	15	15	0
	岡山	30	30	29	0
	鳥取	15	14	15	1
	高松さぬき	9	9	11	0
	姫路グローバル	16	18	19	-2
	米子	15	15	14	0
小計	6	100	101	103	-1
西中国部	広島島	24	25	26	-1
	福山	3	3	2	0
	呉	3	3	-	0
	東広島	12	12	12	0
小計	5	55	56	53	-1
九州部	長崎	8	8	8	0
	熊本	34	34	35	0
	北九州	12	13	15	-1
	福岡中央	19	19	20	0
	熊本ジェーンズ	45	43	41	2
	博多オーシャン	22	22	21	0
	八代	10	10	12	0
	鹿児島	17	17	18	0
	大分	2	2	2	0
	熊本むさし	27	26	27	1
熊本みなみ	24	21	21	3	
宮崎	22	21	25	1	
熊本ひがし	25	23	23	2	
阿蘇	21	-	-	21	
小計	14	288	259	268	29
合計	89	1,688	1,630	1,665	58

(連絡主事を含み、特別メネットは除く)

増減は今期7月1日との比較



JAPAN WEST REGION

西日本区メネット事業主題 【メネットの笑顔はY'sの宝物】楽しみましょう!! メンと共に。

Y's Menette's smile is the treasure of Y's men. Let's enjoy!! With Y's men.

聖句

これらいっさいのものの上に、愛を加えなさい。

愛は、すべてを完全に結ぶ帯である。

コロサイ人への手紙 3章 14節



夫婦で家族で

ワイズライフを楽しみましょう!!

西日本区メネット事業主任 林 成子 (奈良)

「ワイズメンズクラブの特徴を生かしましょう!」と九州部を皮切りに9部会と8メネットアワーに参加させて頂きました。メネットさんの存在は西日本区の中でも、部の中でもマチマチで、温度差が大きいことに戸惑いを感じました。メネットさんが全く存在しないクラブを有する部には、ワイズメンズクラブの特徴を知って頂き、メネットさんの参加を呼びかけました。メネットさんが活発に活動頂いている部には、メンさんの理解者、協力者として、人材にもなり、へそくりも貯めて頂きたいとファン作りをお願い致しました。部長様始めメンバーの皆さんがとても好意的に捕らえて下さり、「メネットはクラブにとって大きな力(色々な意味で)だ」とメネットさんを意識して頂けたように思いました。

又、女性メンバーの皆さんから、メネットさんと呼び寄せて頂き、メネット会の設立(女性グループの結成)が九州部の宮崎クラブに、六甲部の芦屋クラブに出来たことは、とても嬉しいことでした。何事も少しずつ進んで行かなくては変わらないので、西日本区のメネットさん皆さんがメンさんの妻役として、共にワイズライフを楽しんで頂ける様に、今後も呼びかけていきたいと思えます。

WYSH(子供の幸せを願う、エイズ若者予防教育グループ)への支援金も、皆さんから集まりつつあります。有難うございます。支援金のみならず、リーダーやYMCAに集う保護者や子供たちに「エイズと共に生きて行く事」「夢や希望を持って、自分を大切に生きること」を、また地域の人達にもエイズの事をお話ししてあげて下さい。今期は国際プロジェクトもアジアエリアメネット事業の支援(支援金は有りません)も西日本区国内プロジェクトも全てエイズへの支援です。今、本当に大変な時期に来ております、しかしエイズの現実を知らない若者が多すぎます。次世代の為にも教えてあげて下さい。

メネット事業上半期活動報告

メネット事業委員会：第1回 7月21日(土)、第2回 9月5日(水)、第3回 11月11日(日)

メネット主査会：7月21日(土)ホテルフジタ奈良、地域奉仕・環境事業と合同 7月22日(日)ORCプリオ会議室

阪和部メネット会長会：8月4日(土)大阪YMCAライブラリー

メネットアワー：九州部、京都部、西中国部、中部、中西部、びわこ部、瀬戸山陰部、阪和部

メネット報：NOTES&NEWS1号発行 事業通信：メネット事業通信1号、2号、3号

西日本区HPにメネット事業をUPしました「情報のひろば」を設けました。

阪和部EMCボウリング大会、阪和部チャリティゴルフコンペにてWYSHへの支援金を頂きました。

◆◆*◆*◆* 西日本区主査活動報告 *◆*◆*◆*◆*



中部・前期活動現況

中部主査 長井 潤 (名古屋)

中部10クラブのうち、メネット会があるのは金沢と名古屋だけ、しかもそのメネット会の中心は、多くの人生経験豊かな方々によって運営されているという事情があり、三井中部部長の苦肉の人事として、今期は名古屋クラブの小生が「メネット連絡員」としてお手伝いさせていただいています。しかし、メネット会がないといってもさすがワイズ夫人。

9月に開催されました中部部会では、三井部長のホストクラブである名古屋グランパスクラブのメネットさんたちが、部会を陰で支え、盛り上げ、ホストクラブのメネットとして十分な働きと活躍をされました。この方々の若い(※注・金沢、名古屋と比較して)力がメネット会としての活動へと結集されますことを願っています。

後期は、当初本区報でも公約いたしましたとおり、YMCAと協力し、西日本区メネットの活動の骨子となっています「エイズの学びと、私たちにできる支援」について、その学びの会を持ちたいと思っています。

どうぞ、ご支援とご協力をたまわりますよう、お願いいたします。



2007~2008年度 各部メネットアワー開催(合同メネット会)

月 日	部	場所等
9月1日(土)	九州部	阿蘇 白雲山荘
9月9日(日)	京都部	ウェスティン都ホテル 比叡の間
9月15日(土)	西中国部	広島YMCA1号館403号室
9月16日(日)	中部	中部国際空港セントレア
9月29日(土)	中西部	土佐堀YMCA902号室
10月14日(日)	びわこ部	清涼寺客殿、座禅堂
10月20日(土)	瀬戸山陰部	ホテルサンルート米子
11月11日(日)	阪和部	大阪南YMCA2階ライブラリー
2008年 3月8日(土)	六甲部	舞子ピラ神戸14階ミラマーレ

「エイズキャンペーンピンバッジ募金」の状況 45,500円
ありがとうございました。



びわこ部・上半期 活動報告

びわこ部主査 矢野 充 (長浜)

10月14日(日)の第12回びわこ部会の日程に合わせ、びわこ部メネットアワーを開催致しました。内容は、部会第1部会場の彦根市清涼寺に於いて林事業主任による今期のメネット事業の方針、考え方に付いての説明。部内メネットさんたちへの要望や簡単な質疑。神谷理事のご挨拶の後、座禅堂において、メンにもご参加頂き約50名での本格的



瀬戸内寂聴 師による法話

な座禅体験をして頂きました。

清涼寺は石田三成の重臣「島左近」の屋敷跡に、関が原合戦第一の功労者であった『井伊直正公』以下井伊家の菩提寺として、その子『直孝』が開基した曹洞宗永平寺派の寺院。釈迦牟尼如来を本尊とし、諸国から高僧を招いたので修行道場としての名声が高まり、多い時には200余名の雲水が修行をしていたといわれています。(文化年間・1800年代初頭)

その後、メネットファンとして味噌せんべいや、エイズキャンペーンピンバッジの販売でメネットの皆様には大いに活躍して頂きました。有難うございました。

メネットアワー終了後、同寺境内で『瀬戸内寂聴』師による法話を、一般市民も含め1500名を越す聴衆と共に伺い、心洗われるひと時を過ごしました。

メネットアワー終了後、同寺境内で『瀬戸内寂聴』師による法話を、一般市民も含め1500名を越す聴衆と共に伺い、心洗われるひと時を過ごしました。



上半期活動報告

京都部主査 加藤 智子
(京都トッパス)

・2007年7月24日 京都部メネット会長会



於：京都大学のシンボル時計台記念館内フレンチレストラン「トゥール」
今期の各クラブ

メネット会長とクラブメネットの顔合せが目的です。フレンチを頂きながらメネットの懇親を深めていきました。

2007年9月9日 京都部合同メネット会

「第11回京都部メネットアワー」の開催
於：ウエスティン都京都・ホテル

マンドリンの演奏を楽しんで頂きました。

京都部の他、びわこ部、阪和部、六甲部の多くのメネット様にもご参加頂き最終出席人数75名と、にぎやかに楽しく過ごして頂けたと思います。



京都部内クラブ メネット例会訪問



1) 2007年9月27日：京都ウエストクラブメネット例会
於：リーガロイヤルホテル京都

2) 2007年11月15日：京都センチュリークラブメネット例会 於：ザ・パレスサイドホテル

YMCAの日本語科に学ぶお二人の留学生の日本語でのスピーチ



後半期の予定

2008年2月17日：メネット事業と地域奉仕・環境事業の共催で「STOP HIV/AIDS」のワークショップを開催いたします。



阪和部前期活動報告

阪和部主査 遠藤 典子
(大阪泉北)

7月21日 メネット主査会が、奈良のH・フジタで行われ各部の主査さんが参加され部においてのメネット活動報告をされ、その後懇親会、奈良公園近隣のナイトツアーと、和やかな主査会になりました。次の日は、大阪で地域奉仕・環境事業の研修会に参加しました。



8月4日に阪和部メネット会長会を開き、今期の活動予定の報告をして頂いた後、西日本区メネットアワーの御土産の作り方を、奈良クラブの皆さんに教えて頂きました。そして各クラブに持ち帰りメネットさんとメンの皆様で御土産づくりをして頂くことになりました。

9月メネット強調月間にメネット例会をもたれたクラブとテーマ

・8月20日 和歌山クラブ(8月に先行開催)

“メネットナイト” 頑固和歌山六三園にて入会式もおこなわれました

・9月1日 和歌山 紀の川クラブ

“みんなで楽しく歌おう あの歌この歌 皆で歌えば心も軽く”

・9月5日 大阪長野クラブ

“皆で楽しもう！メネット例会”

・9月8日 奈良クラブ

“「薬害エイズ」目覚し続けた11年”

・9月25日 泉北クラブ

“メンと共にのみやげ作成”

平成20年5月15日 大阪河内クラブ 予定

その他

大阪サウスクラブ かぼすでマーマレードを作りネットファンを新規に企画されました。例会では好評で即日完売しました。

・9月10日 大阪サザンスカイクラブ西日本区大会の御土産づくりと新年合同例会のお土産(刺し子)づくりをしました。

・10月には阪和部会があり、メネットさん達がWYSH(エイズ若者予防グループ)に献金しようと

ファンコーナーを設けて販売しました。

・11月には、阪和部合同メネット例会を開催し、北はロシアのワイズメンのアザリヤン オルガさん、南は九州の次期メネット主任の田上さんと、幅広い参加を戴いて、花と人間形成についてのお話を、大阪長野クラブの植下会長さんよりお聞きしました。



その後皆さんで、ミニ観葉植物の水耕栽培(ハイドロカルチャー)の寄せ植えをしました。皆さん思い思いの寄せ植えをされて楽しそうでした。今期の林メネット主任さんの事業主題が「楽しみましょう」と共になのでメンさんの参加も沢山ありました。



2007～2008年度 中西部前期事業報告

中西部主査 松本 武彦
(大阪ヴェクセル)

1. これまでの活動

9月のメネット月間では、クラブ例会運営をメネットにお任せして進めて頂くようお願いしたところ、メネット会長を有している各クラブにおいて、メネットが中心となってプログラムを進めるクラブ例会が持たれました。すなわち、メネット会長が司会進行を務めるクラブ例会、メネット会長が開会宣言から閉会点鐘までを主宰するとともにメネットが司会を務めるクラブ例会などがあります。各クラブとも、ゲストスピーチには工夫が凝らされていて、メネットならではの発想に基づく素晴

らしい内容でありました。あるクラブでは、メネットファン作りのためのオークションをメネットが主宰して売り切ると言う徹底ぶりでありました。メネット会からクラブに対し例会運営に必要な備品・運搬具の寄贈が行われたクラブもありました。

9月29日(土)の中西部会に先立ち、林成子西日本区メネット事業主任をお招きして中西部メネットアワーを開催しました。その1コマでは、メネット会長全員が売り子となって、中西部メネット活動を活発化するためのファン作り「奈良の味噌せんべい販売」を行い、出席者皆様のご協力のもと、完売するシーンもありました。

メネットアワー準備のための中西部メネット会長会も2回実施しました。メネット会長らの活発な意見交換を通じてメネットアワー当日のプログラム進行について綿密な打ち合わせがなされました。

以下は、当日の記録担当メネット会長による中西部メネットアワー報告です。

2. 中西部メネットアワー報告

中西部メネットの集いは、9月29日(土)、大阪YMCA土佐堀会館にて総勢70名の参加を得て開催されました。受付には、4クラブのメネット会によるそれぞれの得意分野の手芸品や品々が並び販売されました。

11時30分より、司会の清水京子さんの第一声で華やかな雰囲気の中、始まりました。事業主査の松本氏の開会点鐘、西日本区メネット事業主任の林さんのご挨拶を頂き、中西部長のト田氏、西日本区理事の神谷氏と続けて頂きました。林さんは本年度のメネット事業についてのご説明を、スライドを使いながら、情熱的に訴えられていました。

食前感謝を坂本富子さん。サンドイッチとお茶でランチを頂きました。そのあと、和やかに各クラブのメネットさんたちの取り組みや現状を紹介しました。

林さんご提案による、奈良の「みそせんべい」販売には、メネット活動のきっかけになればという林さんの想いもこめられており、メネット会長全員の呼び掛けに出席の方々が応えてくださり、即時完売しました。

力強い応援団として、バンドBbによるギター演奏もあり、「きみはひとりじゃない」を笑顔の中に心を合わせて歌いました。

各メネット会の小さな取り組みも、綿々と続ける事により、得られる喜びも次第に大きなものになっていることを感じながら、閉会の点鐘を聞きました。



六甲部活動 上半期報告

六甲部主査 青柳 美知子
(宝塚)

六甲部の合同メネット会は2008年3月に持ち越しましたが、メネット会長、連絡委員の会合を7月24日と11月15日に持ちました。親睦と各クラブ活動報告を聞き合いメネットの立場について話し合ったり、合同メネット会の準備等、楽しく有意義な時間を持つてました。



六甲部 合同メネット会長・連絡員会議 11月15日

9月のメネット例会は神戸クラブ「寝たきり予防」の介護の話、西宮クラブは「多動障害 ADHD」のお話、宝塚クラブは環境保護エコライフについてのお話など、講師選びからメネットがイニシアティブをとり、とても頑張って下さいました。神戸西クラブではメンがメネットに中華料理をご馳走されました。10月には芦屋クラブの女性の会が発足し、楽しそうな声が聞こえてきました。秋のカーニバル、バザー、チャリティーランには各クラブのメネットさん達は多忙を極めました。8クラブの訪問を終えましたが、皆様本当に暖かく迎えて下さり、主査冥利につきました。

後期の予定：2008年2月9日(土)メネット連絡委員会。3月8日(土)六甲部合同メネット会。4月11日(金)留学生生活用品支援セール。



上半期を終えて

瀬戸山陰部主査 島雄 満子
(米子)

主な事業報告

1. メネットアワー 10月20日(土)

部会の前にを行った。まず始めに林主任の奈良クラブの報告をお願いし、皆が感銘を受けた。そして、各報告には熱が込められた。我々の灯は小さい！けれどみんなの力がある！各クラブが活動しておられるが洩れると申し訳ないので米子クラブの報告に止める。この会にはメネットさん・会員の皆さんの参加がありバザー(奈良のみそせんべい・沖縄のもずく・地産のドライアップルそして会員によるハンドメイドの数々が完売になり、ファン・親睦にもつながった。

2. エイズについての公開講座

日時 11月10日(土) 15:30～17:00

場所 YMCA 米子医療専門学校 階段教室

講師 上村茂仁メン ウィメンズクリニック・かみむら院長

参加者 100名

演題 「メール相談から見えて来る若者の悩み・デートDV・性の問題について」

上村先生は診療・メール相談・講演・執筆とすごい活躍で講演内容もサッパリと陰がなく迫力があつた。介



護福祉科の学生には現状説明と病気にさせたくないから知識を増やしてくれの2点張り。前部

長の三浦克文メン(岡山クラブ)は、まだ診療中の上村先生と女性会員二人を車に乗せて、2時間走り続けて来て下さった。感謝です。BULLITIN 岡山11月号には、「クラブ間の交流と米子クラブの高齢者パワーには脱帽！」の文字があつた。

3. DV支援

クラブとして行っている。日本人だけでなくフィリピン女性もある。

クリスマス例会には、DV支援者代表とシェルターに居る女性と幼児も見えた。かわいい子供達に

は国境はない。

4. 聖ニコラス教会のバザーに参加

日時 11月3日

場所 聖ニコラス教会

お得意さんが開店前から来て下さり、メネットさんも大活躍。お陰でファンドも出来ました。皆さんに感謝！

前期事業報告



九州部主査 岩本 晴美
(熊本むさし)

今期は九州部に新しいクラブ(阿蘇クラブ)が誕生しました。また九州部にメネットさんが増えて嬉しく思っています。前期活動の報告をさせていただきます。<九州部メネットアワー>

9月1日阿蘇白雲山荘にて、林メネット事業主任をお迎えして九州部のメネットアワーを開催しました。参加者24名、



雄大な阿蘇の景色を眺めながら今期の西日本区メネット事業の方針を林メネット事業主任にお聞きした後、各クラブのメネット活動の報告をしていただきました。久しぶりにお会いするメネットさんとの語らいの場でもあり、楽しいひと時を過ごしました。当日のWYSHへの献金15,980円も林メネット主任にお渡しすることができました。感謝です。

<熊本地区合同メネット例会>

9月13日熊本日航ホテルにて、阿蘇クラブも交え、7クラブ合同メネット例会が開催されました。参加者は143名。

各クラブのメネット会長さんの報告の後、第1部 トーンチャイムの心地よい音色の演奏(むさしの田上メネットもメンバー)。第2部が熊本YMCA元総主事の小山氏のギターにあわせ、童謡や青春時代の歌をみんなで歌い会場が一つとなりました。例会の進行もメネットさんの手で行われ素晴らしい例会でした。

同時に会場ではメネットファンド作りのバザーも好評でお蔭様で熊本のメネットの交流の輪が広まり

前期事業活動報告



西中国部主査 山野 みき子
(広島)

今期の方針「ワイズメンの良き理解者、協力者となりましょう」の基に活動しました。

9月15日に西中国部会に併せてメネットの集い「楽しくメネットが参加する」をテーマに広島YMCAで行いました。林メネット事業主任を始め、大阪・奈良・岩国・東広島・広島の5クラブからコメントを含め10名が参加。クラブ数が少ないので、お互いに協力し合いながら活動しようと話が盛り上がり、1歩前進できたように感じています。講師に田中信也YMCA

WAAPインストラクターを迎え「楽しく和気あいあい自宅でできるストレッチ」をわずか20分間でしたが教えていただきました。

9月のメネット強調月間は、広島クラブではメネットが参加しやすいよう、今回はストレッチをメインに呼びかけを行いました。



以上のよう、メネットが参加しやすい場を作り自立することを目指し、メネット同士声を掛け合い買っても売っても喜ばれるものを提供しました。例えば、主任からのアドバイスでもある味噌せんべいや塩モズクの小分けをメネットが行い部会やバザーで販売し、その収益を献金することになりました。このアドバイスは西中国部にとってメネットが集まる良いきっかけになりそうです。

ました。当日のWYSHへの献金34,001円は後日、西日本区メネット事業へお渡ししました。

<宮崎メネット会設立>

9月24日に宮崎メネット会の設立の会の集まりがありました。急がず焦らずをモットーに活動されていくそうです。



宮崎メネット会は「コ
宮崎クラブクリスマス例会にて

メット・マゴメット・オバメット？」皆で力を合わせる活動なので・とても楽しいです！

以上、九州部の報告でした。林メネット事業主任の方針の中にメンと共に行動しメンと共に奉仕とあります。メネット活動報告を聞いておきますと、まさにその通りに活動されているクラブがほとんどでした。とても心強く思いました。後半期もよろしくお願ひします。



次期メネット事業主任を お引き受けして

田上 かつみ (熊本むさしクラブ)

2008～2009年のメネット事業主任のお役を頂きました田上かつみです。ワイズメネットとよばれるようになってはや16年目をむかえましたが、このような大役を無事に果たせるだろうか、今はまだ不安で一杯です。しかし、今期、林成子メネット事業主任が掲げられた「メンと共に活動し、その中でメネット同士の親睦を深め、メネット会を活性化していく」という基本方針は、しっかりと受け継ぎメネット会のさらなる発展をめざしていきたいと考えています。メネット会の活性化の1つとして「ファンづくり」も提唱されましたが、私たちのクラブでも「乾燥糸こんにゃく」の販売に取り組み成果を挙げることができました。これも継続して推進していきたいと思ひます。

また、松田洋子直前メネット事業主任が強調された「母の心」を大切に、これからの日本を担っていく「子ども」の育成に関わるプログラムを支援していきたいと思ひます。すでに、それぞれのクラブでさまざまな支援を続けておられますし、新たに支援を考慮されるクラブもあるでしょう。そうしたクラブを何らかの形で応援することができればいいなあと考えているところです。

これまでは、九州部のメネット会のことしか知らずにいましたが、これからは、研修会でいろいろ学ばせていただき西日本区全体、ひいてはアジア、世界を見渡せる大きな視野を持って、メネット事業に取り組んで行きたいと思ひます。皆様、どうぞよろしくお願ひいたします。

私と行動をとともにしてくださる、熊本むさしクラブのお二人をご紹介します。会計は吉岡満子さん。書記は大崎伸子さんです。ともにメネット会長も経験されており、大変心強く思っています。また、熊本むさしクラブのメネットさんはもちろんのことメンも強力な応援団として支えてくださるはずですので、大船に乗ったつもりで頑張ります。

編集 後記

西日本区メネット報
“NOTES & NEWS”第2号を
お届けします。

第1号の時は、何も解らず区報編集委員の高橋メンに色々ご指導頂きました。今回は、各主査様とも主査研修会・各部会・メネットアワー等でお会いし、打ち解けた関係も築けていましたので、原稿依頼・回収もスムーズにできました。メネットもIT化が普及してきました。主査様方が熱心にパソコンに取り組んでおられる様子が窺えました。

何卒後半期も宜しくご支援賜りますようお願いいたします。

07 - 08年度メネット事業
主任 林 成子
書記 内 田 彩子
会計 岩 本 二三子

第11回西日本区大会メネットアワーのお知らせ

メネットアワーを下記のとおり開催いたします。皆様のご参加を、宜しくお願ひいたします。

日時：2008年6月14日(土) 午前11時開会
場所：なら100年会館

2007～2008年度 ネット事業支援金中間報告

2008年1月31日現在

		クラブ名	国際	国内	RSD	計	備考			クラブ名	国際	国内	RSD	計	備考
中 部		金 沢						中 西 部		大 阪	10,000	10,000	10,000	30,000	
		名 古 屋								大 阪土佐堀	5,000	10,000	3,000	18,000	
		名古屋東海								大 阪 豊 中					
		名古屋南山								大 阪 千 里					
		四 日 市								大 阪 高 槻					
		名古屋ブラザ								大 阪 セ ン テ ニ ア ル	5,000	5,000	5,000	15,000	
		名古屋グランパス								大 阪 西					
		津								大 阪 茨 木					
	金 沢 犀 川	3,000	5,000	2,000	10,000			大 阪 セ ン ト ラ ル	3,000	5,000	2,000	10,000			
	合同メネット会		6,500		6,500			大 阪 な か の し ま							
	<小 計>	3,000	11,500	2,000	16,500			大 阪 ヲ ー ク セ ル	1,500	1,500	2,000	5,000			
び わ こ 部		近 江 八 幡	4,000	4,000	2,000	10,000			<小 計>	24,500	31,500	22,000	78,000		
		彦 根						六 甲 部		神 戸					
		彦根シャトー								西 宮	10,000	10,000		20,000	
		長 浜								神 戸 西	5,000	10,000	5,000	20,000	
		草 津	2,000	5,000	3,000	10,000				神 戸 ポ ー ト					
		滋賀蒲生野	3,000	2,000	5,000	10,000				宝 塚	5,000	5,000	10,000	20,000	
		大 津								さ ん だ					
		<小 計>	9,000	11,000	10,000	30,000				神 戸 学 園 都 市					
									芦 屋						
京 都 部		京 都						瀬 戸 山 陰		<小 計>	20,000	25,000	15,000	60,000	
		福 知 山		3,000		3,000				姫 路					
		京都バレス								岡 山					
		京都ウエスト	5,000	10,000	5,000	20,000				鳥 取					
		京都めいぶる								高松さぬき					
		京都キャピタル	5,000	15,000	5,000	25,000				姫路グローバル					
		京都プリンス								米 子					
		京都センチュリー								メネットアワー		3,500		3,500	
		京都ウイング								<小 計>		3,500		3,500	
		京都洛中							西 中 国		広 島	4,000	4,000	4,000	12,000
		京都エイブル	4,000	6,000		10,000					福 山				
		京都グローバル									呉				
		京都みやび									東 広 島				
		京都さくら									岩 国	3,000	5,000	2,000	10,000
		京都トップス		14,300		14,300					<小 計>	7,000	9,000	6,000	22,000
		京都トゥービー									長 崎	4,000	4,000	2,000	10,000
	京都東稜						九 州			熊 本					
	京都ウェル								北 九 州						
	<小 計>	14,000	48,300	10,000	72,300				福 岡 中 央						
阪 和 部		田 辺								熊 本 ジ ェ ー ズ	5,000	10,000	5,000	20,000	
		和 歌 山	3,000	15,000	3,000	21,000				博 多 オ ー シ ョ ン					
		奈 良	10,000	10,000	20,000	40,000				八 代					
		大阪サウス	3,000	10,000	3,000	16,000				鹿 児 島					
		大阪堺								大 分					
		大阪河内	10,000	5,000	5,000	20,000				熊 本 む さ し	5,000	15,000	10,000	30,000	
		大阪長野								熊 本 み な み					
		大阪泉北							宮 崎						
		和歌山紀の川	5,000	5,000	3,000	13,000			熊 本 ひ が し	5,000	5,000	5,000	15,000		
		大阪サザンスカイ	2,000	5,000	1,000	8,000			阿 蘇						
		EMCボレーン大会		32,000		32,000			メネットアワー		15,980		15,980		
		チャリティーゴルフコンパ		72,000		72,000			熊 本 地 区 合 同		34,001		34,001		
		部 会		40,000		40,000			メネット例会						
		合同メネット会		42,423		42,423			<小 計>	19,000	83,981	22,000	124,981		
	<小 計>	33,000	236,423	35,000	304,423			西 日 本 区		36,000			聖日礼拝		
								役 員 会 献 金							
	合 計		129,500	496,204	122,000	747,704									



ワイズメンズクラブ国際協会

第11回西日本区大会

「まほら大和に集うワイズのカ」

と き:2008年6月14日(土)~15日(日)

ところ:なら100年会館 & ホテル日航奈良

主なプログラム

- | | | | | |
|------|---|-----------------|--------|-----------------|
| 6・13 | 金 | 前夜祭 | 19:30~ | 於:ホテルフジタ奈良 |
| | | 西日本区役員会 | 17:00~ | 於:あすなら(H・日航奈良隣) |
| 6・14 | 土 | 次期準備役員会 | 9:00~ | 於:あすなら |
| | | 代議員会 | 10:30~ | 於:なら100年会館 |
| | | 連絡主事の集い | 10:30~ | 於:あすなら |
| | | メネットアワー | 11:00~ | 於:なら100年会館 |
| | | 第11回西日本区大会(1日目) | | 於:なら100年会館 |
| | | 開会式 | 13:15~ | |
| | | バナーセレモニー | | |
| | | 西日本区アワー | | |
| | | 記念公演:雅楽(舞楽) | | |
| | | 懇親会 | 18:30~ | 於:ホテル日航奈良 |
| | | フェロシップアワー | 21:30~ | |
| 6・15 | 日 | 西日本区大会(2日目) | | 於:なら100年会館 |
| | | 早天礼拝 | 9:20~ | |
| | | 表彰式 | 10:15~ | |
| | | 理事引継ぎ式 | | |
| | | 閉会式 | 12:30 | 終了 |



「大和は国のまほろば たたなづく青垣 山ごもれる 大和し 美し」

奈良

ホストクラブ ----- 奈良クラブ

名誉実行委員長 ----- 林 秀彦 (奈良クラブ)

実行委員長 ----- 濱田 勉 (奈良クラブ)

協力 ----- 阪和部 (各クラブ)

田辺 ・ 和歌山 ・ 大阪サウス ・ 大阪堺 ・ 大阪河内

大阪長野 ・ 大阪泉北 ・ 和歌山紀の川 ・ 大阪サザンスカイ



も く じ

“確信を持って前進しよう！”	理事	神谷 尚孝	1
ごあいさつ			
確信と思いやり	次期理事	佐藤 典子	3
2000名に向けて“人は石垣・人は城”忘れてならないアイデンティティー	直前理事	森本 榮三	3
後半期に向かって	書記	望月 強	4
西日本区会計として	会計	金城 清輝	4
円滑な行政の推進を	行政監事	佐野 文彦	5
区財政の健全化について	財政監事	柴田 善朗	5
事業活動報告			
前期活動報告“ユースと共に、平和を築こう！”	Yサ・ユース事業主任	大野 勉	6
上半期の取り組みについて	地域奉仕・環境事業主任	岩間みどり	7
EMC事業前期活動報告	EMC事業主任	澤田 賢司	8
『西日本区会員増強2000名！思いひとつに、今行動のとき！』	西日本区2000推進チーム委員長	松岡 義隆	9
ファンド事業上半期報告	ファンド事業主任	前田 文夫	10
上半期の交流事業活動報告	交流事業主任	吉岡 毅	10
動くこと、知らせること	広報事業主任	守田 富男	11
楽しみましょう!! メンと共に。	メネット事業主任	林 成子	11
部活動報告			
中部前期活動報告	中部部長	三井 秀和	12
前期活動報告-YMCAとの協働を企るなかで-	びわこ部部长	戸所 岩雄	13
京都部上半期の活動報告	京都部部长	新山 兼司	14
07-08阪和部上半期活動報告	阪和部部长	遠藤 通寛	16
上半期活動報告-Y's運動の源流を求めて！-	中西部部長	ト田 啓三	17
六甲部上半期活動報告	六甲部部长	大塚 章信	18
瀬戸山陰部前期活動報告	瀬戸山陰部部长	加藤 俊行	19
西中国部前期活動報告「手をつなごう！」	西中国部部长	小松 邑司	20
ハードな前期を振り返って	九州部部长	岩本 悟	21
10周年特集 西日本区活性化へ向け～理事懇談会			22
常置・特別委員会活動報告			
ワイズリーダーシップ開発委員会報告	ワイズリーダーシップ開発委員長	井之上温代	26
続・聖書からの学び	クリスチャニティー特別委員長	長井 潤	26
情報委員会からのお願い	情報委員長	初田 稔	27
組織検討・安全対策委員会	組織検討・安全対策委員長	白井 征郎	27
前期を終え	理事事務局長	東 良學	27
ワイズメンズワールド(YMW)への投稿のお願い	YMW翻訳・編集委員長	山川 一郎	27
西日本区第1回役員会議事録			28
西日本区第2回役員会議事録			32
西日本区現勢(2008年1月1日)			38

メネット報NOTES & NEWS

ワイズメンの良き理解者、協力者となりましょう!!	メネット事業主任	林 成子	1
西日本区主査活動報告			2
中部メネット事業主査	長井 潤、びわこ部メネット事業主査	矢野 充、	
京都部メネット事業主査	加藤智子、阪和部メネット事業主査	遠藤典子、	
中西部メネット事業主査	松本武彦、六甲部メネット事業主査	青柳美知子、	
瀬戸山陰部メネット事業主査	島雄満子、西中国部メネット事業主査	山野きみ子、	
九州部メネット事業主査	岩本晴美		
次期メネット主査をお引き受けして	次期メネット事業主任	田上かつみ	7
メネット事業支援金中間報告			8

ワイズメンズクラブ国際協会西日本区

理事 オフィス / 〒532-0055 大阪市住吉区万代2-9-2-403

TEL:06-6672-7280 FAX:06-6672-7280

西日本区事務所 / 〒532-0012 大阪市淀川区木川東4-5-2(榊上野ビル)2F

TEL:06-4805-0570 FAX:06-4805-0571

E-mail: info@ys-west.or.jp